新京日日新聞
夕刊 一月二十七日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波薫
印刷人 永越內之介

日支關係調整の前途に一段の期待と光輝を加ふ

青島會談の成果に就て 板垣總參謀長談發表

【青島廿六日發國通】板垣總參謀長は二十六日青島會談の圓滿終了に際して左の要旨の談話を發表した

過日來青島に於て日支間の新關係調整のため支那中央政府の樹立問題に關し支那側の

會談 行はれたるところ偶々當地を過ぎ、會談極めて順調に進捗し且意見又完全なる一致を以て圓滿に終了したるの狀況を聽取したり、本會議の成果は中央政府の樹立乃至日支關係調整の前途に對し一段の光輝と期待とを加へたるものにして東亞就中日支のため特に欣快とするところなり、此際一般の情勢に鑑み日支問題の根本に關し些か所感を述べんとす、抑々八紘一宇の萬邦協和はわが肇國の精神なり東亞新秩序建設の理想亦こゝにあり各民族及び國家がそれぞれ安住の所を得、近隣親睦にして互助協力し夫々その天分を遂げもつて興隆發展せんこと即ちこれなり

これがためには凡そ東亞のこと

道義 をもつて一致の根源となし國家の獨立を尊重すると共に國防及經濟等國家相互間の提携協力關係を調和しもつて東洋道義の文化を再建發展すべきことその要旨既に闡明せられあるが如し、然り而して東亞再建の基礎段階として先づなすべきことあり日滿支三國新關係の調整樹立是なり而してこれが原理は東亞新秩序建設の理想において律せられざるべからず、これがため曩に善隣友好、共同防共、經濟提携の三原則を提唱せられた所以のものまたこゝに在り、向ふところは既に

牢固 として明かなり、相互に國家民族の本然を尊重して相提携し互助敦睦の交誼を厚くし近隣相戒めて唯物赤化の進出を防ぎもつて東洋道義の文化を保存し、平等互惠の經濟をもつて長短相補ひ有無相通の實を擧ぐべきものなり、これ道義をもつて一致し國防及び經濟の協力をもつて重しとなす所以のものなりとす、今日支は東亞永遠の和平のために戰ひつゝあり、然れども戰は目的に非ず已むを得ずしてこれを用ひるもの、この間相互の互助共榮と全民族の福祉とを至すべきの途は律せられざるべからず、須く東亞民族の傳統たる道義の本然に還り正道を行ひもつて本領となすべし、蓋し正しからざる者は久しからず道に由らざる者は達せざればなり【寫眞は板垣總參謀長】

日本軍の駐兵和平成立に不可缺

汪氏、記者團と問答

【青島廿六日發國通】汪精衛氏は廿六日午後三時から迎賓館において個別的に外人及び中國人記者團と會見次の如き一問一答を行つた

「外人記者團と會見」

問 日本との和平は實現するか

答 中央政府が成立すれば日本との間に新關係が成立するであらう

問 通貨對策如何

答 急がずに相當長期間において幣制を統一したいと思ふ

問 外債の處理は如何

答 重慶側が非合法的に設定したもの並に政府成立後設定するものは別としてそれ以外のものは愼重に檢討したのち繼承すべきものは繼承することにならう

問 和平運動の見透し如何

答 吾々は久しく重慶側が和平を提議すべきことを待つたがこれは實現せず今日吾々は重慶側に對しても世界に對しても新しい行動に出なければならなくなつた、現在吾々と重慶側との間に大きな意見の相違がある點、和平問題は既に今では意見の相違ではなく中國民衆の渴望となつてゐる

問 日本軍の駐兵が和平を妨げるのではないか

答 日本軍の駐兵の責任は重慶にあると考へる、重慶が抗戰を叫ぶ以上日本は駐兵せざるを得ないではないか、寧ろ日本軍在るが故に和平が成立すると考へるのが本當ではないだらうか

「中國人記者との會見」

問 中央政治會議は何時招集するか

答 大體一ケ月後上海に於て招集する考へなるも今は決定的のものではないどう變更されるかも判らない

問 憲政問題については重慶政權も關心を拂つてゐるか貴見如何

答 吾々は憲政實施委員會をつくり既にその第一步を踏出してゐる、施政方針に關しては吾々は敏速且つ正確に處理すべきをモツトーとするものである、故に重慶政權がどう出て來ようと考へる必要はあるまい對外方針については第三國の正當なる權益を保障するものである

問 華僑は如何

答 華僑は非常に愛國心が強い、故に吾々の和平運動の進展を徹底せしむれば必ずや參加を申出るであらう

問 重慶政權內部に於ける和平機運如何

答 和平救國運動は重慶政權の內部から發生したものであり現在この運動に參加を希望してゐる者が重慶を脫出し得ずにゐる者と心理的に參加したいけれど現在時機を窺つてゐる者との二つに分けて考へられる

問 一般人の和平問題とその將來を如何に考へるや

答 一般の者は和平を希望してゐるが、敢て口にせぬ現狀にある、日本と協力し合理的な和平を進めれば和平の實現は早いと思ふ、自分の現在の目標は「實現和平」「實現憲政」にある

皇軍の入城に歡喜

オルドス難民蘇生の思ひ 奇襲作戰輝く戰果

【〇〇にて廿七日發國通】黃河南岸オルドス前套地區に蟠居執拗な蠢動を續けつゝある鄧寶珊軍、馬占山軍の徹底的殲滅を期して行動を起した〇〇部隊の主力は廿一日〇〇から凍結せる大黃河を渡り堂々の步武、胡砂吹荒ぶオルドスの原野を踏みしめた

黃河南岸前套地區一帶はわが猛烈な掃蕩にも拘らず對岸の西北黨軍及び共產軍が勢力の挽回を策して飽くなき妄動と抵抗を續けてゐるところでオルドスに明朗の樂土鄉を築くべく敢然起上つたわが軍の精銳は凜烈極まる酷寒、吹きまくる黃塵を衝いて勇猛果敢なる進擊を行ひ至るところに敵を潰滅して赫々の戰果を收め迅速僅かに四日にして前套地區の殘敵を掃蕩、

〇〇部隊は小卓教堂、左翼後旗、改々召を經て廿四日夕刻〇〇に進出したオルドスの原野は濕地性の草原が沙漠に轉じたもので一面廣漠として際限なく續き砂丘の起伏を見るばかりで處々に城壁に圍まれた部落、廟が五里行つて一つ、十里行つてまた一つと淋しく點在してゐる、敵は早くからこれ等の部落、廟を占據しこれを抗日勢力の前進據點となし部落から食糧、物資、家財等を掠奪して住民を塗炭の苦に陷れ亂暴を働いてゐたが、今回わが軍は拔打的な奇襲作戰に出でたため周章狼狽その極に達した、敵は占據してゐた部落及び廟を悉く破壞燒拂し早くも總崩れとなつて潰走した、そのため部落や廟は見るも無殘な廢墟と化し住民は何れも避難したが殆んど姿も見受けられぬ、夜間になると諸所で炎々空を焦がす劫火の凄慘な光景が見受けられた、わが軍が部落に入城すると何處からともなく避難民が歸來し炊事の手助けを行ひ、おどおどし乍らも精一杯の歡迎ぶりを示し進んで道案內の役目まで引受けるといつた熱心さ、オルドスの部落で最も注意を惹くのは部落が巨大な城壁を廻らし、また民家の周圍を二重、三重の深い塹壕で守り中にはトーチカ、哨樓まで備へたものもあるといつた堅固さで武器部落の特異性を持つてゐる、これは常時敵の脅威におびえてゐる住民が自衞團として設けたもので、そのかげに暴虐なる敵に對して放つ彼等の怨嗟の心が窺はれるのである

敵部隊を猛爆

【〇〇基地廿六日發國通】〇〇部隊長指揮の精銳〇〇機は折柄の密雲を冒して粤漢線韶關および樂昌附近を移動する敵部隊の攻擊を決行、敵高射機關砲の彈幕をくゞり鐵道線路を爆碎し輸送寸斷、樂昌驛構內に待避中の列車卅餘輛を猛爆炎上せしめた上、坪石に停車の貨車數輛をも爆擊、爆碎、甚大な損害を與へて全機無事基地へ歸還した

協和施策を昂揚

省本部長、事務長會議開く 本年度工作方針指示

友邦日本の光輝ある紀元二千六百年を迎へ、これと呼應して滿洲國四千萬民衆の民生の向上に劃期的な活動を展開せんとする協和會中央本部では、一月二十九日中央本部で省本部長會議を三十日より二日間にわたり更に左記日程に依り全滿事務長會議を開催し曩に決定された中央本部の本年度工作方針の大綱に基き、中央側の指示、說明を行ふと共に、地方の特殊事情に鑑み、國民の經濟厚生生活の安定に重點を置く各省事務長の意見を聽取し、中央地方を通ずる協和施策の徹底に邁進することとなつた

省本部長會議日程

一、日時 一月二十九日
二、場所 中央本部第一會議室
三、會議次第
一、開會 午前十時
二、會長訓農
三、本部長指示
四、康德七年度運動方針大綱說明、午前十時、總務部長
五、康德七年度運動方針大綱說明、午後二時、總務部長
六、懇談 午後四時
七、閉會 午後六時

月日 一月三十日、一月三十一日兩日
場所 中央本部第一會議室

第一日
一、開會 午前九時卅分
二、訓示 本部長
三、大綱指示 總務部長
四、要綱說明 擔任部局長
五、閉會 午後六時

第二日
一、開會 午前九時卅分
二、要綱說明 擔任部局長
三、重點構成說明 午後二時 企畫局副局長
四、懇談
五、閉會 午後六時

本年度の運動方針奏上

張協和會會長は二十七日午前十一時橋本本部長を帶同宮廷に參進、皇帝陛下に親見を賜り協和會本年度運動方針につき奏上、種々御下問に奉答し正午退下した

新政府直轄の國防軍を編成

維新、臨時兩政府より繼承

【南京廿六日發國通】新中央政府成立後その歸屬を注視されてゐる臨時、維新兩政府軍隊が今次青島會談により新中央政府にそのまゝ繼承されることとなつたことは維新政府管下各軍隊に非常な感激を與へ近く地方軍隊の域を脫し中央政府直轄國防軍なるべしとの明るい希望でその士氣は一段と昂揚しつつある、而して新中央政府に繼承さるべき維新政府綏靖部正規軍隊およびその附屬機關概要は次の如く二ケ年に亙る教育治安歸順工作等各方面の體驗によつて養はれたその實力は新中央政府國防軍として不動の威力を示すものと期待されてゐる

一、各地區綏靖部隊 綏靖部直屬の綏靖部隊は南京（司令熊育衡）常熟（司令徐鶚鞏）無錫（司令程滿軍）蘇州（司令襲國樑）杭州（司令徐樸誠）蚌埠（司令沈席儒）廬州（司令王占林）の七地區にあり將校を除くその武裝兵力は合計二萬二千に達してゐる

一、綏靖軍學校（校長任援道大將）南京中山東路舊勵志社跡の軍官學校は昨年十一月第一期卒業生三百餘名を出し卒業生は少尉將校として各部隊に配屬され第二期生三百卅名も目下訓練中である、同校は近き將來において汪精衛氏を團長とする上海の中央陸軍軍官訓練團とも當然合併し新支那國軍の中堅人材養成機關とならう

一、軍士教導隊 南京光華門外舊工兵學校跡の綏靖南京訓練所が昨年十二月初旬軍士教導隊に改編せられ日本各部隊より選拔せる者二千名をもつて十ケ團を編成し新政府軍隊の模範幹部候補生たらしむべく訓練を行つてゐるが將來は十ケ團一萬名とする豫定である

一、綏靖水巡學校（校長任援道）および水巡隊 上海龍華の綏靖水巡學校は本科修業年限二ケ年のためまだ卒業生を出してゐないが、附屬訓練所は既に二回卒業生を出した、また揚子江下流開放に備へその水上治安確保のため水巡隊司令部（司令許建星）および同南京基地隊が來月より南京に新設されることになつた、即ち軍艦海靖および海援、砲艇江靖および江援が南京に待機してゐる

一、その測量人材養成所では測量技術を習得せしめ被服廠兵器修理所も着々とその規模を廣めつゝあり陸軍病院の創設準備も進められてゐる

低物價政策堅持

米內內閣の物價對策申合せ

【東京國通】政府は廿六日の閣議で物價對策に關して左の如き申合せを行ひ、これを內閣書記官長談の形式をもつて發表した

物價對策については戰時體制強化の趣旨に從ひ概ね左記による

一、低物價政策を堅持することとし米穀、石炭、肥料等產業または生活上の重要商品については右政策を徹底すると共に物資增產等供給の增加を圖る方針をとる
一、戰時適正價格を決定するに際しては敏速、敏活に處理することとし闇取引の絕滅を期す
一、通貨の流通については極力これが回收を圖る
一、一般的商品については極力節約を圖る
一、物價委員會等の物價統制機構を改組する
一、國家管理の保險、年金制度、切符制度、強制貯蓄、物價調整資金制度ならびに物資配給機構等を速かに考慮する

星野長官藏相と懇談

【東京國通】星野滿洲國總務長官は廿六日午後六時半首相官邸を訪問し櫻內藏相と懇談を遂げた

三首腦歸還

【青島廿七日發國通】新中央政府組織の基礎を決定する青島會談において完全なる意見の一致をみて圓滿に同會議を終了した王克敏委員長以下臨時政府側出席者は廿七日午前九時半、汪精衛氏側及び梁鴻志院長以下維新政府側出席者は同十時いづれも滄口飛行場發それぞれ南北歸還の途についた

非鐵金屬類國內販賣値

二十九日公布

日滿商事の非鐵金屬類國內販賣價格は康德六年七月一日以降を左の通り決定、二十九日公布されることとなつた

品名	單位	價格
電氣分銅	百キロ	國幣 百六圓
鉛	同	六十圓
電氣亞鉛	同	八十圓
蒸溜亞鉛	同	七十圓
錫	同	六百十圓
アンチモニ	同	百八十八圓

但し右販賣價格は日滿商事の發行する注文書面日附起算三十日日滿奉天驛馬車乘渡し若くは日滿商事の指定する場所渡しの價格とす、右基準地以外の地に於ける販賣價格は右販賣價格に奉天驛馬車乘より到着地貨車乘に至る運賃諸掛を加算せる價格とす

貿易省の設置見合せ

【東京國通】政府は廿六日の閣議で懸案の貿易省設置問題に關し審議した結果貿易振興については凡ゆる施設を講ぜねばならぬがこの際は貿易省を設置すべきでないとの意見に一致し貿易省設置はこれを見合せ貿易振興については別に必要なる方策を講ずることに決定した

在瑞米人の引揚を勸告

【ストツクホルム廿五日發國通】ソ芬戰局の停滯に比しスカンヂナヴイア情勢は次第に微妙な動きを示しつゝある折柄、スウエーデン外務省情報によれば [illegible]

淺間丸事件

英、回答發出

【ロンドン廿六日發國通】英國外務省當局は廿六日淺間丸事件に關する日本の抗議に對する英國の回答は廿六日午前クレーギー駐日大使宛發送した旨公表した回答內容は勿論發表されぬが、その文句は著しく和協的な調子を帶びたもので、淺間丸乘船のドイツ人乘客拉致は國際法の先例に基いたものであるとの主張を率直明白に述べ、殊に拉致せるドイツ人は潛水艦乘組員として使用されるおそれのあつた者なることを強調、更に英國政府としては問題が雙方の名譽を重んじて解決されることを希望すると結んだものと解されてゐる

人事往來

[illegible]

その日

[illegible]

室町校兒童智能検査

豫ねて教育界注目の的となつてゐた新京室町小學校に於ける同校五年生以上六百五十名の智能検査は二十七日より一週間同校に於て實施されるが、この結果は多大な興味と關心を持たれてゐる

"二千六百年"慶祝
首都行事要項決る

盟邦日本が皇紀二千六百年の大祝典を擧行するに當り全滿擧げて之に應へ日滿兩國の窮り無き隆昌を壽ぐべく種々慶祝行事が準備されてゐるが新京では廿七日午前十一時より協和會首都本部に於て初の慶祝委員會が開かれ副委員長關屋悌藏氏同松木俠氏初め委員約十名が出席、顏合せをすると共に紀元節を中心とした慶祝事業並に本年度に於ける慶祝行事を協議した、慶祝實施要項の主なるものは次の如くである

▼慶祝記念事業

一、五穀獻上　農産物を皇帝陛下に獻上し奉り陛下の萬壽を祝ひ奉ると共に國民の忠誠を披瀝す

二、産物を日本帝國皇室に獻上　日本皇室に對し産物を獻上し奉り日滿一徳一心兩帝國の窮り無き隆昌を壽ぐ

三、國民舞樂の普及　中央委員會に於て創作せられる國民舞樂を普及徹底し五族合唱、五族合舞以て民族協和に貢獻す

四、神武殿の建設　滿洲帝國武道會に於て設立實施中のものにして十一月の完成期日に於て武道大會を開催し武道の精華を紹介すると共に尚武の精神を奬勵す

五、日滿青少年の通信による交驩　兩國青少年の相互通信による交驩をなし日滿一徳一心の理解と認識を深む

▼慶祝行事

一、紀元節祝典　嚴肅盛大に施行す

二、慶祝式典參加　國民動員大會の直前に於て盛大に擧行する

三、國民動員大會參加　例年に比し更に規模を擴大し擧行する、本大會參加の大部分は首都よりの參加者にし二千六百年慶祝の意を闡明し動員訓練を徹底す

四、一徳一心展覽會　中央委員會より配付される日本の歴史、地理、風俗を畫きたる紙製模型約五十場面を以て移動式豆展覽會を催す、本展覽會は滿系地域特に農村地區に重點を置くものとす

五、慶祝體育大會　首都慶祝大會の開催、中央慶祝大會に參加

六、日本に於ける二千六百年慶祝式典參加　明年十一月十日曠古の二千六百年奉祝大式典擧行さる、この式典に首都より多數代表を送り慶祝の至情を表す、尚これを機に日本の神社參拜及び文化施設並に農村等の見學をなさしむ

七、興亞都市大會參加　東京市主催の本大會に全滿主要都市代表と共に參加

八、興亞教育大會參加　九月、日本帝國教育大會主催の本大會に代表を送る

九、興亞神宮大競技大會參加　東京に於て十月開催の本大會に選手を送る

▼其の他

一、日本記念事業に對する醵金奉賛　中央委員會に於て賛襄醵出計畫（全滿十五萬圓）に基き醵出す

新京神社第一鳥居の
石材近く到着
春祭り迄には竣工

新京神社では、今回同神社第一鳥居を更らに崇嚴味あるものとするため、柱石の取替工事を行ふこと丶なり市内東一條通、河田石材店に依頼し、現在日本内地にあて、優秀御影石を選擇中であるが、近く荒仕立した石材が河田商店に到着、同店ではすぐ樣仕上げに移り新京神社春祭である五月十五日までには是非とも嚴肅味更らに加はる新鳥居を竣工させる豫定で、工事を急ぐ筈である

同鳥居工事費總額は一萬五千圓、現在の直徑二尺六寸のものを二寸擴大二尺八寸のものとし刻字も現在の如く派手なものではなくごく目立たない地味なものとする筈である

吉野町市場の營業方針協議

吉野町私設小賣市場は二月一日より市公署に移管され公設小賣市場として市民にお目見得するがこれに先立ち市公署實業科では二十六日午前十時より第二會議室に吉野町市場内の業者を集め今回市が市場を經營するに當つて公設小賣市場としての營業方針及び市當局の市場に對する方針を説明正午散會した

中郡（神奈川縣）の火事

【大礒國通】廿七日午前零時頃神奈川縣中郡二宮町中町みどり湯附近から發火、同町目拔きの場所花柳街などを燒き同三時半頃鎭火した、燒失戸數郵便局以下百五十戸

第六回全滿氷上
爭覇の火蓋切る
競ふ第二陣！新鋭の意氣軒昂

銀盤上の豪華版第六回全滿氷上選手權大會は無風快晴の廿七日午後一時から兒玉公園氷滑場に於て滿洲スケート界を背負ふ精鋭若人七十餘名を全滿から集めて開會された、定刻嚴肅なる入場式に引つゞきスピード女子五百米、同トラック内のフイギュアー女子基準型滑を最初に愈よ熱戰の火蓋は切つて落されたがこれより先午前十時半から同氷球場で奉天滿鐵對奉天醫大氷球一回戰が展開、隨所に繰展げられる覇權目ざす接戰、熱戰に定刻前から會場を埋めた觀衆を熱狂せしめた

【寫眞は中村公正、永島泰子さんのフイギユア】

滿洲ツ子の齒は強い！
内地育ちより
ムシ齒が少い
滿鐵今西醫師の興味ある發表

大陸生れの學童は日本内地の學童より齲齒が少いと云ふうれしい報告が廿六日滿鐵新京病院で開かれた第百四十五回新京醫學會に同病院齒科今西喜一氏によつて發表された從來の報告によると日本内地の男女學童の齲齒罹患率は平均九十五・六％なのに在滿日本學童は九十七％前後といふ恥しい數字をみせ滿系學童の五十乃至六十％とは較べものにならぬとされてゐた、ところが今西醫師が白菊、櫻木兩校學童のうち内地生れの八百四名と大陸生れ（朝鮮生れを含む）の三百五十五名を對比したところ内地生れは内地同樣九十五・六％なのに大陸生れは平均九十二％といふ素晴しい良好さであつた

この原因としては滿鐵が附屬地行政を行つてゐた時代の學校齒科衞生指導の良好さに基くもので附屬地は何れも都市的傾向があり家庭の環境がよく比較的治療の行屆かない農村を含む日本内地の學童より優位な環境に置かれたことが滿洲育ちの學童の齲齒を少くしたものである、從つて今後に殘された問題は開拓民第二世の齒科衞生施設の完備が焦眉の急といふことになり教育當事者はこの事實を看過出來ぬわけだ

今西喜一氏談

何分にも少數の學童について調査したことですから全滿のことは云へませんが、この數字は今後滿洲生れの子供が增加して來るに從つて變つて來るだらうと思ひます、お母樣方も現在は安心ですが滿洲國を郷土とする第二世の齒科衞生には極力注意され、又地方の日系小學校兒童の齒科衞生施設については特に注意を拂つて戴きたいものです

双葉山優勝

東京國技館相撲紀元二千六百年春場所より九年目で復活した東西對抗で初日より人氣沸き連日滿員の盛況振りで廿五日の千秋樂も超滿員で打揚げた

【寫眞は優勝杯を手にして喜ぶ東方横綱双葉山】

敷島區役員
町會長會議で決定

既報、新區制に伴ふ敷島區の副區長並に協和會分會、義勇奉公隊各役員を推薦決定する區内町會長會議は二十六日午後二時から西廣場滿鐵社員倶樂部に開會、役員は滿場一致の推薦で左の如く決定した

▼副區長柴田正氏（現中央町會長）

▼義勇奉公隊長寺中楠治氏

副隊長柴田正氏、同淺井正一郎氏

▼協和連絡幹事長寺中楠治氏、副幹事長柴田正氏、同淺井正一郎氏

能率協會講習所開所式

滿洲能率協會附設實務講習所では來る二月一日午後六時から同所において落成披露並に開所式を擧行する

演技を實地に？
銀幕演員の惡事
喧嘩の果萬引常習發覺

が口論の果て毆り合ひをはじめたのを日本橋通派出所員が發見同行取調べたところ、右は順天署ボーイ何致銘君と日乃出町一ノ一〇悦來棧止宿滿映演員岳存秀（二五）で、金泰角で出合頭に突き當つたのに岳が何君に因縁を吹きかけての喧嘩と判つたが、岳は質札十三枚（合計額三百五十餘圓）と十數枚の刑事の名刺を所持するところから所員は臭いと睨み家宅捜査に赴くと部屋の中は萬引物の山だ

毛皮防寒帽三個、各種ナイフ卅三個、靴下十六足仁丹廿五袋、塗箸二十本スプーン廿九本、ホーク十四本、ウイスキー十本ポマード九個等々新世帶に必要な物一切締めて三十三點（金額不詳）を押收したが

これらは金泰その他百貨店で演技の實地（？）を試みて竊取したものらしく、質札を追及すると昨年十月初旬滿映寬城子演員宿舍からオーバー（五十圓）十二月廿九日同所でオーバー一着（五十圓）を掻ッ拂つて入質歡樂地で遊興に費消したことを自白したが刑事の名刺多數を所持してゐるのでニセ刑事を働いた嫌疑があるので目下餘罪を追及してゐる

駐日阮大使官邸
今曉突如全燒す
協和會事務所も類燒　館員は無事避難

二十七日午前九時、駐日滿洲國大使館より外務局に宛て廿七日午前三時四十五分ごろ東京麻布櫻田町大使官邸より突如發火し阮大使官邸及び隣接の協和會東京事務所を全燒した旨の入電があつた、折返し外務局より至急詳報通知方を打電したが未だ返電なく原因、損害その他一切不明であるが大使家族及び館員は一先づ館内の別の官舍に避難した、目下阮大使は歸國の途上にあり廿八日あじあで新京着の豫定である【寫眞は駐日滿洲國大使館】

殘した仕事を思へば寂しい氣がする
蒙古の父 白濱氏の感慨

大同元年六月興安總署總務處長を振り出しに康德四年七月興安局開設以來參與官としてまさに建國以來の蒙古人のよき父であつた白濱晴澄氏が、蒙政部から興安局への機構改革始め蒙地の處理、ノモンハン事件以來の微妙な民情處理などをお土産に廿七日突如として八年間に亙る蒙古生活にさよならをつげ金融合作社聯合會副理事長に轉任するとの辭令が發表されたさて蒙古開發の畢生仕事から一寸戸まどひの感じがある經濟部内に轉じた白濱氏に一昔に近い八年間の蒙古への熱情の思ひ出を聞くと

初めて興安南省に赴任した當時は日系官吏は一人歩きが出來ぬほどだつたので、まづ治安確保に力を注いだものだが、現在の治安狀態と思ひ合せると全く隔世の感がある、在任中蒙地奉上、王侯處理、錦熱蒙地の處理等建國以來の懸案を大體片づけたやうに思つてゐるが殘された仕事もまだ多々あり矢張り人の子少しは淋しい氣がするよ、しかし人間は何でも勉强だ今度の仕事にも一つ打ちこんでみようと思つてゐる【寫眞は白濱晴澄氏】

新杵藝妓義金

二十七日午前吉野町三ノ五料亭新杵藝妓桐葉、静夫姐さんらは中央通署を訪れ、誠に僅少ですが藝妓一同が馬車賃、お茶代等の小遣を醵出したものですと、金百圓を差し出し大火に見舞はれた静岡市民の救恤費にと寄附した

裏日本の猛吹雪

【名古屋國通】北陸、信越の大動脈を切斷、不通狀態に陷れた五十年來の裏日本一帶の猛吹雪は二十六日拂曉より愈よ猛威を振ひ、一夜にして沿線至るところ二三尺の厚みを加へ、丈餘の積雪に朝來ロータリーラッセルをはじめ除雪機關車部隊總動員の活動もあとからあとからと降り續ける雪に全く國鐵は茫然たるのみで廿五日來の蝸牛運轉も空しく全く不通となつてしまつた、敦賀、富山間の雪地獄に隨所に立往生した上下十九車の旅客列車の乘客一千餘名は罐詰となり悲壯な面持ちで炊出しを受け濃鉛色の空を眺め天候の回復を待つてゐる

販賣主任の横領

朝日通滿洲圖書會社では二十六日午後販賣主任小山一郎（三三）が昨年九月から一月まで自分の地位を利用し千三百圓を横領行方を晦してゐるのに氣付き所轄四道街署へ小山の取押へ方を願ひ出た、小山は以前奉天でも千五百圓の詐欺横領を働いたことがある

盜んで踏倒す
したゝか酌婦

入船町四ノ七新京閣止宿小松嘉三（四九）さんは密山縣牛蔵河料理店から連れて來た牛島人酌婦徐貞淑（二二）と廿六日午前十一時頃東二條通二一味不二で晝食をしたゝめてゐる際徐は一寸煙草を買つて來るからとて小松さんの手提鞄を持つて行つたまゝ前借九百圓を踏倒して行方を晦したので虎の子と玉を一緒に失つた小松さんは青くなつて中央通署へ徐の取押へ方を願ひ出た

あす（廿八日）

▲神守滿鐵支社次長歸任

鐵道總局と事務打合せのため赴奉中の滿鐵新京支社次長龍守源一郎氏は二十七日午後五時二十分歸任

▲三笠小學校第四回創立記念日並學藝會　於同校午前十時より

▲新京音樂院第十一回定期演奏會　於協和會館午後七時半より

▲第六回全滿氷上選手權大會第二日　於兒玉公園午前十時半

▲三りんぼ▲大つち▲初不動

あすの歴史

▲上海事變起る（昭和七年）

▲日銀保證準備限度を五億圓に擴張に決定（昭和十四年）

今晩の放送

▲七・三〇（大阪）國民歌謠「肇國景仰の歌」▲七・四〇（東京）講演「中南支に遠征して」汲本博士下村宏▲八・〇〇（東京）長唄「ゑ和し」河合武雄他▲九・〇〇（東京）連續物語宮本武藏

女「ネーあんたなんて名のネー教へてよー」客「名を聞いてどうすんだい」「さう簡單に教へられるやうな安つぽい名ぢやないヨ」女「そんな殺生なこといはないでネー頼むから」このお安くない問答をやつてゐる女は「あけぼの」の梅作姐さん、ネー、ネーを何回も何回も繰り返したがさつぱり効果がない梅作姐さん遂に隣りのお客に教を求め「あの人の名を教へてください」と嬢顔に及んだ、ところがそのお客にも「人から聞いたんでは値打がないではないか梅作姐さんの面子にかけても直接聞くんだーネ」といはれ「よーしそれでは」と振ひたつた梅作「わたしものむからあんたものみな」と、酔はせて聞きたいことがあると來た、一杯二杯三杯と一對一でそのお客と應酬してゐる裡に姐さんぽーつと酔が廻つて來た、だん〳〵最初の目的である客の名前を聞くことなんかどうでも良くなつて來た「妾ダンスうまいのヨ」「どうせインチキだらう」とひやかされ、うまさを證明すべく姐さん本格的な衣裳をつけレコードの伴奏で大廣間のステーヂに立つた、そして踊りも踊つたりエヂプトか印度の大西洋舞踊、彼女の踊りは實に素晴らしく萬雷のやうなアンコールをあびた、西洋舞踊を踊る藝者、時代も變つたものだ、どこか映畫館のアトラクションから抗議でも來ねば良いが

曾我廼家五郎一座 陽春四月來演
一門總出の初渡滿

陽春を期し滿支鮮巡業の初旅にのぼる事になつた喜劇王曾我廼家五郎一座は既報の如く春爛漫の四月一日初日を以て大連開演に滿洲興行のトップを切り鞍山、奉天、北京、天津、錦縣、ハルビン、新京、安東、京城釜山のスケヂュールで巡演する筈で既に松竹社員が先發して各地劇場側と打合せをしてゐるが新京の日程は四月十四日から三日間西廣場滿鐵社員倶樂部と決定した、一行の主なる出演俳優は左の通りである

五郎、大磯、小次郎、桃蝶、勢蝶、時右衛門、五樂、五郎丸、時和、林蝶、二三蝶、三郎、一朝、和歌葉、秀蝶、蝶太郎、蝶幸、五月、勇五郎、二三夫、菊蝶、明蝶、登久蝶、蝶壽、なたね、時松、都千代蝶、鶴蝶、美代蝶、末蝶、五滿女、十一、二三松、和蝶、圓蝶、市蝶、杏蝶、千蝶、次蝶、時丸、二三榮、時六、蝶次郎、時榮

その他數十名にて上演狂言は曾我廼家得意の新作は言ふまでもなく今回は特に純情篇として涙多いものと時局調を織込んだ快笑篇が上演される筈で目下鋭意選擇中である

東寶撮影現況

△衣笠監督「蛇姫樣」近日開始△阿部監督「燃ゆる大空」脚本執筆中△木村監督「海軍爆撃隊」近日開始△島津監督「光と影」整理中△渡邊監督「春よいづこ」セット中△佐藤監督「妻の場合」ロケ中△石田監督「化粧雪」準備中△安達監督「快速部隊」ロケ中△近藤監督「仇討ごよみ」近日完成

「岡ツ引と娘」

日活京都松田定次監督の新作「岡ツ引と娘」は竹村康和カメラ、左の主要配役で開始する

かみなり瀬兵衛（月形龍之介）兼松左膳（河部五郎）佐々木平馬（志村喬）與八（團徳麿）兼松新太郎（片岡市女藏）おこよ（大倉千代子）おとわ（常盤操子）

北支公開映畫
軍でも檢閲實施

【北京國通】北支軍では今回北支治安維持の見地から治安維持に有害なる影響を及ぼすのを防止するため日本憲兵隊司令官をして公開映畫の檢閲をなさしめることとなり二月一日から憲兵司令部において實施することになつた、新檢閲規定の大要は左の如くである

一、日本人（業者を含む）の公開映畫の內ニュース映畫、軍事映畫、思想映畫ならびにこれ等に關係あるものは從來の檢閲のほか新たに北京日本憲兵隊司令部の檢閲を受けることを要す

二、中國人および第三國人（業者を含む）の公開用映畫は當分の間日本憲兵隊の直接協力のもとに支那側において檢閲を行ふ

三、從つて所定の檢閲を經ざる映畫は上映し得ず

四、軍で行ふ檢閲の效力は一年とす

伊、獨兩公使 滿映スタヂオ見學

新裝成つた滿映スタヂオを見學し滿洲國の新興文化映畫界の横顔を視かうと、コルテーゼ伊太利およびワグナー獨逸兩公使は田代外務局次長、神吉民生部次長等の案內で二十五日午後四時滿映本社を訪問、林常務理事から滿映の躍進と滿洲國映畫事業の概況について說明をうけたのちお自慢の新スタヂオを見學し同五時辭去した【寫眞は向つて左より伊公使、獨公使、甘粕滿映理事長】

海外映畫短信

△メトロの本年度超特作オールスタアキャストのテクニカラー映畫「風と共に去りぬ」は紐育キャピトル及アスター兩劇場での特別公開に際し七〇%といふ映畫興行史上空前の高歩率を組んで愕然とさせたが、同畫につい メトロが興行者のロウ會社と契約した條件には（一）三百八十萬弗の製作費を六ケ月間に回收する事（二）一年間で二千萬弗の總上りを擧げる事（一）同映畫を最低五千八百萬人に見せること（一）本年度は全部特別公開で一般封切は明年度に行ふ筈等がありいづれの點でもレコード破りなので興行界の話題を獨占してゐる

△廿世紀フォックス社の人氣スター、タイロン・パワーは更に同社と三年間の契約を延長した

雜音

帝都キネマ新京キネマ掛け持ちの「白蘭の歌大會」宣傳が利いてゐるだけに兩館とも却々の盛況だ▼帝キネの初日は晝間は左程のことはなかつたが夜に入つてぐつと客足を詰め、階上階下ともに滿員、客は補助椅子から廊下に溢れてゐた▼揚り三千五百圓見當、なほ廿八日日曜日は李香蘭の唄が入る▼新キネの方は晝夜ともに客足は平均してゐたが、一千八百圓の揚りは好調といへる、前者との差は收容力の差で致方がない▼さて「白蘭の歌」なるものの內容であるが、些か見る方で顔負けせざるを得ない程のもの、外的條件だけがいくら揃つてゐてもいゝものは出來ないのである▼大陸への關心に投機した企畫は一應いゝとして、こんなもので釣るとはまさに映畫相場の「攪亂の歌」だ

大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊 【本紙夕刊十二頁】

發行所 新京日日新聞社

匪勢著るしく衰へ 輝く王道の慈光

國軍の綜合討伐成果

治安部調査による一月現在に於ける全國治安狀況は共匪、土匪その他を合し概數約三千二百で建國後僅か八年にして十分ノ一の驚異的減少を示し、その蠢動地域も東邊道、三江省並に北安省の一角に過ぎず、辛うじて地方住民の拉致强制によつて匪勢を維持し然も少數分散して討伐隊の目をくらましてゐる有樣で、有力匪首は何れも射殺、捕虜或は歸順し中にも王蔭武、李華堂の如きは歸順後悔悟して進んで治安工作に活躍してゐる、この間日滿軍警は寧日なき活動を續けてゐるが昨年度國軍の綜合討伐成果左の通り

交戰回數 六三一
討伐匪數累計 三六、九一七
人質奪還 一四二

匪賊の損害
死 一、九九九
傷 八七一
捕虜 二二七
投降 三五七
鹵獲品=小銃九三五、拳銃二五四、小銃彈藥四三三五〇、拳銃彈二、六七〇、重機關銃五、輕機關銃一三、洋砲一七、自動小銃一、迫擊砲三、手榴彈二三〇、馬四三九、山寨覆滅四二二、雜品糧穀多數

國軍の損害
戰死(軍官) 一六
同(軍士兵) 二〇三
戰傷(軍官) 二九
同(軍士兵) 三六四

東亞再建へ力强き巨步!

努力と成功を念願

青島會談代表招待宴席にて 板垣總參謀長挨拶

【青島二十七日發國通】青島會談最後の夜二十六日午後六時半から迎賓館に催された板垣總參謀長、野村海軍最高指揮官、加藤總領事共同主催の汪精衞氏はじめ臨時維新兩政府代表招待晚餐會の席上、板垣總參謀長は次のやうな挨拶を述べた

日支新關係樹立に鞏固なる基礎を築く青島會談が順調に進行し完全なる意見の一致を見たことは慶賀に堪へぬ、憶に東亞新秩序建設の中心思想は東洋固有の道義文化の再建であり換言すれば日本は日本、中國は中國の本然の姿に還りこれを東洋本來の傳統たる道義によつて結合せしめるにある東亞再建は日支兩國の大使命であり日滿支三國の基礎を安固ならしめて實現するものである、こゝに列席される各位は和平救國のために身を挺して危局に赴むかんとする方方であり、すでに肝膽相照した先覺である、共にこの大使命に進まれる以上その間枝葉末節は問ふところでなく必ず大同團結の下に目的は遂行されるであらう、今日會談が善美の成果を收めて終らんとするに際しなほ將來の努力と成功とを念願し東亞のため日支全民族のため盡瘁せられんことを期待する

和平へ一身捧ぐ

汪精衞氏、感激の謝辭

これに對し汪精衞氏は來賓を代表して次の如く謝辭を述べた

私共の努力しつゝある和平救國運動は東亞新秩序建設運動で換言すれば東亞の復興である、日支兩國にはそれぞれ固有の道義ありそこに共通した所謂東洋文化が存在してゐる、昨年私が東京に行つた時平沼首相は、歐米は一切が功利主義に失敗してゐる、歐洲大戰の結果條約が結ばれて國際聯盟が出來上つたがこれは功利主義のみで道義が存在しなかつたので國際聯盟は瓦解に瀕し今や第二次歐洲大戰が勃發せんとしてゐる、日本は東亞固有の道義に立脚して時局を收拾せんとするものであると言はれたが今板垣閣下の言葉を聽き一層胸を打たれるものがある、日本の平和主義は終始一貫した精神である事を發見した、之によりはじめて新東亞の秩序を建設し得ると確信する、現在支那には依然平和主義に疑惑を懷いてゐる者があるが東亞本來の道義を自覺すれば必ず和平運動を理解するに至ると思ふ、余は微力にして且つその責任は頗る重大であるが東亞の道義文化再建に最善の努力をするつもりである臨時維新兩政府とわれわれとの間にははじめ多少見解の相異があつたが今總て道義により完全なる一致を見るに至つたことは洵に愉快に堪へない

型破りの會談發表

外人記者感謝

【青島廿七日發國通】今次青島會談に際し新聞通信報道のため東京、上海、南京北京、張家口等より青島に參集した日支および外國新聞通信記者は夥しき數に上り地元記者と合すれば百數十名に上つたが、青島會談の圓滿なる進行と汪精衞氏をはじめ王克敏、梁鴻志氏等の和平に對する熱意には多大の感銘を受け二十七日午前十時より開かれた最後のプレス・コンフアレンス後のビア・パーテイ席上インターナショナル記者ジョン・ゲッテイ君は感激に滿ちて左の如く語つた

余は今次會談に際し會談當局者が新聞記者になされた好意に對しては滿腔の感謝を捧げたい、われわれの經驗した過去の會談においては發表はすべてプリントされたものであつたが今次會談の發表はあらゆる事實を披瀝することによつてなされたことは一つのエポックと言はざるを得ない、殊に二十六日汪精衞氏との會見において余等は汪精衞氏の應答を豫期せぬ幾多の質問を行つたが、これに對して汪精衞氏はわれわれの豫想せぬことまで一々應答してくれたことは如何にも嬉しかつた

駐支米大使上海へ

【上海廿七日發國通】去る廿二日砲艦ルソン號で揚子江上流地方視察の途に上つたジョンソン駐支米大使は今明日中に漢口着の豫定であるが同大使は來る二月四日上海へ歸着、同七日T・C・J・L汽船チチヤレンカ號で上海を出帆香港に至り更に汽船で佛印海防に渡り陸路昆明經由重慶に赴くことになつた、なほ同大使と共に大使館附海軍武官オヴアリッチ少佐、陸軍武官マイヤー少佐、海軍武官補マックヒヒー少佐及び米國支那法廷ヘルミック判事が同行する

阮大使着京

萬壽節に賀詞捧呈のため阮駐日大使は二十七日午後五時廿分着「あじあ」で着京直ちに帝宮に參進、記帳の上大都ホテルに投宿した

【寫眞は新京驛にて阮大使】

英、わが要求を拒否

淺間丸事件不誠意の回答

有田外相 强硬に追及

【東京國通】淺間丸事件に關する帝國政府の嚴重抗議に對しイギリス政府は事態の重大性を漸く認識し帝國の國民感情を尊重したる一面、自國の法理的見解を貫徹し得る方策につき百方苦慮しつゝあつたところ、このほど對日回答案の作成を終へ二十七日午前十時右回訓案を在京クレーギー大使に宛てゝ打電し來つた、よつてクレーギー大使は同日有田外相に會見を求め午後二時から外相官邸において重要會見を行つた、而して同會見席上クレーギー大使から有田外相に手交したイギリス政府の回答の骨子は

一、淺間丸問題についてはイギリス本國側の情報に照して帝國の威信を害する意思はなかつたことを表明

一、抑留ドイツ人の引渡しに關しては自國の法理的見解に基いてこれを拒否

一、第二、第三の淺間丸事件の勃發を防遏するため將來の對策につき日英間に協議を行ふ用意あり

の諸點にあるものと見られこれに對し有田外相は

一、ドイツ人の抑留はイギリスの不法强力行爲の所產である、帝國はこの不法行爲に激發されてゐるのである、淺間丸事件と抑留ドイツ人の引渡しとは不可分の關係にありこの際イギリス政府が深甚なる政治的考慮に基き抑留ドイツ人を引渡し淺間丸事件の植付けた不快な印象をこの際拂拭せられることがイギリスにとつて得策と考へる

一、將來の保障については帝國としても歐洲戰爭不介入の立場を堅持するため交戰國人の本邦船乘船については目下考慮中であるこの點に對しイギリス政府の協力を要望するものである

旨を答へてこれに應酬するものと見られ、抑留ドイツ人の引渡しと將來の保障問題を繞つて日英間の折衝はなほ今後も繼續されるものと思はれる

遷都委員會設置

新中央政府樹立準備進む

【青島廿七日發國通】今次青島會議により來るべき新中央政府は國民政府の方途を繼承、舊國民政府を改組遷都して和平達成に邁進することゝなつたが廿六日上海に歸還した汪精衞氏等は直ちに遷都準備委員會を設け既成政權側と協力、遷都準備に着手することゝなつた同委員會は九名乃至十一名の委員よりなり委員長に國民黨秘書長褚民誼、副委員長に維新政府內政部長陳群兩氏が就任、新中央政府の必要とする建築物その他諸備品、事務人員等の整備に取掛る筈で臨時、維新兩政府の事務人員の身分保障及び兩既成政權の發令せる各種法令及び取決め等の取扱ひ方法の檢討と相俟つて新中央政府樹立の事務的準備は急速に進展を見るものと豫想される

驚異的の大戰果

山西東南角の敵匪を完碎

【太原廿六日發國通】意義深き皇紀二千六百年の元旦をトして行はれた大嶽山脈の要衝長子、壺關、高平の一萬の敵に對する壯烈極まる大包圍殲滅戰はわが西田精銳の巧妙なる協同作戰に敵必死の抵抗も空しく驚異的戰果を收めて去る廿四日終了、こゝに山西東南角における敵匪の蠢動は完全に粉碎され朗色再び同地區一帶を蔽ふに至つたが、第一期、二期、三期作戰を通しこの綜合戰果は左の如くわが無敵陸軍の底知れぬ威力を遺憾なく發揮してゐる

我方と交戰せし敵兵力は龐炳勳十四軍麾下卅九師百六師、獨立騎兵十四旅及び范漢傑の廿七軍麾下四十五師、四十六師及び八師の計一萬一千六百で敵の損害は遺棄死體のみにても約三割の三千七十八に達しこのほか捕虜六十一、鹵獲品=迫擊砲一重機二、輕機廿二、小銃二百七十一、同彈藥五萬一千九十一、手榴彈二千八百四十五、自動小銃三拳銃六その他多數に及んでゐる

敵部隊を猛擊

【○○基地廿七日發國通】今西、竹下、川村各部隊の陸鷲は廿七日拂曉鵬翼を連ねて湖北省黃陂北方に飛び惻盤店(黃陂より卅キロ)附近に集結中の敵約一千に猛爆を加へ宿舍諸共これを爆碎、敗走する敵に對し果敢なる低空掃射を浴せて殲滅的打擊を與へた

又この日是松編隊長指揮の○○機は安陸西南方廿キロ附近の石牌鎭、呂林廟、吳家集等の各部隊に據る敵を蹂躪しに爆擊、多大の戰果を收め何れも全機無事歸還した

西部戰線に小競合

【ベルリン廿六日發國通】ドイツ軍司令部は廿六日戰況に關して左の如きコムミユニケを發表した

一、西部戰線は依然として寒氣きびしく大體平穩にして、局部的に步兵の小競合があつた

一、二十五日アパチ南部に於てフランス軍の小攻擊ありたるもドイツ軍砲兵隊はこれを砲擊して沈默せしめた

一、敵小偵察隊はフイシユバ戰區に於てドイツ軍のため擊退された

一、英機は二十六日ルフアー地方に偵察飛行を行ひたるもわがメサセユミット型追擊機の追擊を受け、うち一機はデユイヌブルグ地帶に擊墜された、なほブリストル・ブレンヘイム型一機はドイツ偵察飛行隊に發見され、空中戰の後擊墜され、搭乘員は全部死亡せり

フィンランド軍に擊墜されたソ聯爆擊機

三寒四温

ある小學校では、生徒の晝べんとうの時間に、その受け持の教師が、一緒に食事をとらずに、生徒だけの勝手にまかせてゐる教師もあるとか聞いた▼學校、とくに小學校が單なる知識の切り賣りをするところでなくて、生徒の全人格をねり上げる道場たるべきだといふことは、いふまでもないことだらう▼さうすれば、食事のごとき、生活の最も基本的な行事に際して、教師が生徒と一緒に食べ、その食べかた、食物に對する知識や考へかた、さらに廣くは食物と人生、食糧問題の常識などをあるひは話して聞かせるといふやうなことは必要でもあるし、當然なすべきことではないか▼大ていの小學校ではおひるべんとうの時間は、師弟一緒になつて、樂しく談り合ふことになつてゐると思ふが、しかし、教師たちの食物や食事に對する考へかたや、態度は、多くはきはめて無雜作な、よいかげんなものではあるまいか▼教育に實際化だとか、現實生活と學校教育とをむすびつけようとか說かれるけれども、生活の基本であり、生命のもとである食物及び食事について、今日の學校がはたして眞劍にかつ適實に、工夫し指導してゐるや否やは疑はしいやうだ▼この頃食糧問題がやかましくなつてきたので、この方面からいろいろと注意して、生徒にも知識だけでなく、實踐問題として指導してゐる學校や先生方も少くないやうだがまだ〳〵單なる經濟問題としての範圍を出てゐないだらう▼ところがこの食事こそは、人間にとつて、經濟の問題であるよりはむしろ生命の問題、健康の基本問題であるとともに、さらにこれは道義の問題なのであるる▼いろ〳〵な修身のお話も、もちろん大切でありけつこうであるが、食物、食事の指導は、修身のお話の根本になるべきものなのだ▼まづ何を食べるかといふことは、決して、米が不足だから雜食混食もしくは代用食をやるなどといふ單なる經濟の應急對策の問題ではなくして、それは實に保健の問題であり、精神の基本問題なのだ▼人間のみならず、およそ生物はその食物の如何によつて、健康がいちじるしく左右される▼今日の日本人の體位低下の主要原因が、白米食、砂糖過度その他日本人の食物の傳統を破つたことにあることは爭はれないところだ▼しかも、この體位の低下は、必らず精神的な不健全をもともなつてゐるのだ▼意思の薄弱、持久力の減退正義感の消耗その他おそるべき道義的頹廢をまねきつつあることは、心ある人々の氣づいてゐるところである▼學校の先生は、何よりも先づ、生活の指導者でなければならぬ▼人生をどう考へ、如何に生きるかといふ、根本的な人生指導者となることが教師なる者の第一要件だらうと思ふ▼すでにでき上つてゐる社會のいろ〳〵な事件の知識をさづけるといふことも必要にはちがひないが、それにはおのづから限度がある▼知識などは教へきれるものではない▼生活の態度、方法が根本だ▼さうして、食物及び食事のしかたといふことはこの人間の生きてゆく上の最も大事な、根本的なことであるから、學校ではとくにこの點に力をいれてもらひたいものだ▼食物や食事のことは、健康館や、校醫などにたよつて居るべきことではない▼報恩感謝の念などゝいふ、道德の基本についても、食事に際し、食事を通じて、ほんとうに天地自然に感謝し、農民その他の生產者に對して、感謝するといふやうに指導すべきであるまいか▼何を、如何に、食ふべきかといふことは、教育ことに初等教育の中心問題の一つとして先づ諸先生方御自身の研究と、工夫と實踐とを要望したい▼とくに大陸日本人をつくるべき滿洲の先生方の眞劍なる努力を祈る次第である。

軍事援護の事業を擴充

軍人後援會で決定

康德七年度における滿洲軍人後援會の事業資金四十萬圓を組上にその使途及び事業實施計畫並に軍人遺家族に對する職業輔導等に關する同會の本年度初の理事評議員會は二十七日午後一時より日滿軍人會館において會長直木倫太郎氏、副會長于新京特別市長、專務理事恒吉協和會輔導部長以下各理事評議員二十數名出席の上開催、會長、專務理事及び入江、原田兩部長よりそれ〳〵所管事項につき說明あり、同五時終了したが、同會では本年度事業資金として九千萬圓を要求豫算として政府に提出したが查定により結局四十萬圓に削減されたが、同會が一昨年十月創立されてより一年に滿たぬ昨年夏のノモンハン事件により三十萬圓の資金をもつて百萬圓近き支出をなしてをり、また明年をもつて國民總服役法施行に際して本年度既に相當額に上る資金の必要に迫られてをるなど本年度四十萬圓の豫算では軍事援護の實をあげることは不充分であるとして各理事より相當[illegible]一方政府を通じ[illegible]社より五百萬圓[illegible]題も昨年以來[illegible]るのでこれに關[illegible]吉專務理事より[illegible]なる寄附を要請[illegible]し督促すると[illegible]樣である

大村滿鐵總裁 首相を訪問

【東京國通】大村滿鐵總裁は廿七日午後三時[illegible]に米內首相を訪問[illegible]

桑折少將歸任

約二週間に亘り[illegible]視察中であつた[illegible]官桑折英三郎少[illegible]佐を帶同二十七[illegible]三十分の列車で[illegible]

訪日青少年指導者歸滿

[illegible]に亘り日本を[illegible]國青少年團指導[illegible]團鎬山副團長以[illegible]の一行は二十七[illegible]出帆の日滿連[illegible]滿の途につい[illegible]なほ同船では[illegible]へ皇軍慰問[illegible]赴く浪曲家[illegible]十三名も乘[illegible]一行は北支[illegible]洲に一ヶ月[illegible]皇軍慰問及[illegible]

南昌日本人會結成

【南昌廿七日發國通】南昌日本人[illegible]にある南昌[illegible]民協議會を[illegible]民團の母體[illegible]人會を結成[illegible]奧田貞義氏[illegible]が就任した

人事往來

着京

▲岸本嘉一氏[illegible]七日來京[illegible] ▲楠本賴雄氏[illegible] 同 ▲櫻井軒策氏[illegible] ▲藤原貢一氏[illegible]際ホテル ▲南部一郎氏[illegible]長)富士[illegible] ▲中西實雄氏[illegible] 蓬萊ホテ[illegible] ▲泉平四郎[illegible] ▲三村力夫[illegible]

出發

▲中島卯氏[illegible] ▲木內清氏[illegible] ▲黑田繁久[illegible] ▲淺野龍夫[illegible] ▲伊藤勳氏[illegible] ▲天野秀雄[illegible] ▲井土吉治[illegible] ▲野口一二三[illegible] ▲名原文三[illegible] ▲高谷富重[illegible] ▲矢沼正一[illegible] ▲山田元治[illegible] ▲中山子行[illegible] ▲江副影一[illegible] ▲西方幸次[illegible] ▲上田眞太[illegible] ▲木谷吉[illegible]

社說

青島會談の成果

青島會談が成功裡に終幕となつたことは、新支那のために大いに喜ぶべきことである。これによつて新しく生れ出るべき中央政權の禮貌が明らかとなつた。國民はすでにこれを知り大いに意を強うしてゐることと考へられる。事態がこゝまで進み來つたのについては先導となつて萬般の準備を進め來つた汪精衛氏の努力もさることながら、また臨時、維新兩政府の首腦者たちがよくこれに協力し來つた功績を認めなければならぬであらう。それはまた汪精衛氏の目指すところが、よくこれら兩政府の主張をそのうちに包含したものであつたからであると言へるのであるが、更に言へばよく國民の欲するところがそこに取り上げられてゐるからだといふことにもなるのである。

青島會談の結果としてはつきりと表明されたもののうち、注目すべきものとしては、新しい國民政府は中華民國の法統を繼ぐものであるといふことである。別な言葉をもつてすれば、新中央政權の樹立は中華民國の革命ではない、本來の國民政府をこゝに更生せしめるものとするのである。次には、このやうな新しい國民政府なのであるが、從來の如く國民黨の一黨專制に依ることなく、各黨各派、有能者をも容れて政治をやつて行くといふことが注目すべきである。これは早くより要望されて來た憲政を實質的に實施するものに外ならない。從前の支那が實現し得なかつたものをこの機會に實行するといふのは蓋し賢明なやり方であると見なければならぬ。これを驚人的に見れば、曾て唱へられた「好人政府」の實もこゝに期待され得るわけである。支那の國情、國民の實情といふものを基礎として考へるとき、支那としての最も進步した政治の可能性を實證しようとしてゐるのである。

重慶政府に對しては若しその非を改むればこれを抱合するといふ立て前を取るといふ。これも同一國民としての心情からすれば至當だとは言へよう。ただ果して重慶にそれを望み得るか否かは大なる疑問である。今は重慶政府の治下にある國民に對してかかる呼びかけが持つ效果のみを評價すればよいであらう。

ただ結局は、新中央政權がよくそのプログラムを遂行し得るか否かは、ひとへに日本のこれに對する理解と支援とにかかつてゐるのである。新政權の側でもこのためには充分な用意があるものとわれらは信じたい

敵陣營動搖甚しく 著しく士氣銷沈

北中支の週間戰況

【南京廿六日發國通】支那派遣軍報道部では一月十九日以降廿六日に至る週間戰況を左の如く發表した

△支那派遣軍報道部廿六日發表

一月十九日以降本日に至る間の支那事變戰況の概要左の如し

一般戰況

敵の冬季攻勢は屢報の如く全支にわたり殆ど潰滅逼塞するに至つたが、敵の最高統率部はなほ各所において攻勢の再興、治安の攪亂を企て必死の抗戰に努めてゐる、しかしてその目的とするところは全支に澎湃として湧き起る和平機運の阻止近く生誕すべき新中央政府樹立の妨害、日米通商條約廢棄に關する對外示威および目下重慶滯在中の英佛大使への面子問題のため對內外宣傳示威にほかならない、しかしながら最近における敵陣營內部の動搖は蔽ふべくもなく山西、甘肅、山東各省をはじめ北中支各地に頻發する國共相剋、敵軍內訌等はその苦悶の實相を語つて餘りあり、南支方面においても執拗なりし敵が最近著しく退嬰的となり士氣銷沈しつゝあることが明かに看取される、支那派遣軍ではこの際さらに敵に一大鐵槌を加へ迷夢を覺すべく極寒氷雪を冒して果敢なる剿滅討伐戰を敢行しつゝある、その內本週における主なる戰鬪は廿一日夕以來開始せられた錢塘江南岸の作戰、廿三日からの包頭南方黃河南岸の剿滅戰、內應山、隨縣方面の掃蕩戰、南支欽寧公路および南寧附近における掃蕩戰等で地域的にこれを細述すれば次の如し

北支方面

イ、河北省山東省方面に一部の敵蠢動をみたがわが容赦呼應しての猛攻に忽ち四散した

ロ、山西省および甘肅省方面においては國共兩軍の紛爭衝突頻發し山西內部の紛爭によりわれに對する攻勢どころではない

ハ、去る十二日來包頭攻擊を企圖して失敗し黃河南岸地區に潰退した傅作義の敵軍はその後再編に努め小縮にも攻勢再興の蠢動を示すに至つたのでわが○○、○○の各部隊等は斷乎これを膺懲すべく行動を開始し廿三日來骨をも刺す凛烈の酷寒を克服し目下壯烈なる掃蕩戰を展開してゐる

中支方面

イ、湖北省北部隨縣東北方西大別山系においては湯恩伯の麾下四個師が新たに戰線に加入執拗なる反抗を企て來つたが、わが川俣、的野、吉川、高野、澤山、有薗、土橋各部隊は十九日以來高城鎭南方十六キロ萬家店、四周岳地區にこれを捕捉、烈風とその後數日に亙る猛吹雪を冒し隨所に殲滅戰を展開、廿三日早曉に至り敵全軍は遂に北方に總退却を開始し西大別山の各地帶は平靜に歸した

ロ、安陸方面および潛江方面の敵はその後なほ一部の蠢動をみたが、わが猛攻の前に潰亂殆どいふに足らない

ハ、湖北省南方崇陽方面において赫々たる戰果を收めた佐野、池田、栗岡各部隊が引續き敗敵を急追十八日拂曉通城東北方十七キロ大谷嶺において集結中の敵七十七師を急襲して潰滅的打擊を與へ、續いて四川軍百卅三、百卅四師を急追廿三日これを殲滅した、また通城方面においては竹原部隊が十八日大沙坪東方約十キロの山地內に殘存する有力なる敵を掃蕩徹底的打擊を與へた、敵は目下積極的行動に出づる能力を失ひ山地內に陣地を構築、一部をもつて交通路破壞の蠢動を續けてゐる

ニ、河野部隊および中川部隊は十六日以來太湖南方および西南方地區の討伐掃蕩戰を敢行遊擊部隊を潰走せしめた

ホ、揚子江下流所謂三角地帶の治安攪亂を目指す敵を剿滅すべくわが○○、松井、鎭田、島田各部隊は海軍艦艇および海軍航空部隊一部の協力を得廿一日夜以來突如行動を起し廿三日未明折柄の猛吹雪を衝いて錢塘江南岸奇襲渡河に成功、同日正午早くも浙カン、滬杭角兩鐵路の完全遮斷に成功し要衝蕭山を占領、引續き臨浦鎭、義橋附近の要地を掃蕩三角地帶を明朗ならしむる新態勢を確立した

南支方面

イ、廣東方面においては十九日正午來江門、增城、高車にときどき一部の敵來襲兵力偵察的行動に出で來つたが、わが方の反擊により忽ち潰亂し殆ど問題とするに足り得ない

ロ、南寧方面もまた先週來敵勢著しく消極的退嬰的となり只管に陣地構築防守に努めつゝあり特に大なる變化を認められない

ハ、欽寧公路において○○部隊は所在の敵を掃蕩廿日、廿一日の戰鬪で敵百十三師、百八十八師を徹底的に擊破しわが方の作戰は極めて順調に進捗してゐる

航空部隊

陸軍航空部隊高田、黑岩、杉本、牛谷、赤石、今西、杉村、橫田、河村、三角、田中（弘）森玉、荒卷、是松、山崎、田中（友）石川古川の各部隊の精鋭荒鷲は本週連日の曇天或は吹雪を冒して各地に活躍、山西省臨汾、包頭南方寧河流域、山東省滄口、河北省良鄉、柳林水方面、河南省鄢莊鎭南大章、懷慶方面の地上作戰に呼應して果敢なる爆擊偵察に任じ更に中支隨縣應山、金家鎭方面、沙洋鎭等の地上作戰に協力、また廿一日森玉部隊は遠く寧夏省方面の敵空軍基地を攻擊廿三日杉本部隊は山西省北部より綏遠省一帶に亙る敵軍捜索に多大の效果を收め更に廿四日には田中（友）部隊は大擧して河北省拒馬河沿岸地區に蠢動する敵有力部隊を奇襲爆擊粉碎し、錢塘江の作戰には今西、杉村、橫田、河村、三角、田中（弘）阿久津各部隊が水も漏さぬ空陸一體の緊密なる協力を行つてゐる、別に南支戰線には○○、○○等の陸鷲が連日翩翼を張つてゐる

簡潔な重點主義

米內內閣の施政方針

【東京國通】米內首相が再開議會の劈頭において行ふべき施政方針の原稿は廿二日以來內閣三長官の手許において作製中であつたが、廿五日夜一應脫稿したので廿六日の定例閣議に上程米內首相以下各閣僚はこれに對しそれぞれ意見を開陳し愼重檢討したが、なほ若干字句修正の必要あるので當日は決定せず廿七日の閣議において更に檢討し廿九日の閣議において正式決定の上、上奏御裁可を仰ぐことになつた、而して施政方針の形式は極めて簡潔で內容も左の如く重點主義によりそれだけに又強く國民の自覺に訴へんとする方針を執るものと解される

一、事務處理　支那事變處理の方針は施政の不動國策が儼然としこれを踏襲すべきは固より事變處理方策の第一段階として近く樹立すべき新中央政府の成立發展に對し積極的支援を與へることと亦言を俟たない

一、對第三國方針　第三國殊に對する事變處理に關聯する國交調整の方針第三國外交方針は飽くまでもわが自主的態度を堅持する

一、國內對策　戰時國民生活の安定を第一義として低物價政策の完遂を期し歷史的時局に直面する國民は眞に擧國體制の實を擧ぐべくその生活に基礎を置く政策を確立し事變終局の目的を獲得したい

低物價策遂行へ

政府の具體的方針

【東京國通】政府は廿六日の閣議に於て低物價政策遂行のため俄かに考慮すべき事項として國家管理、保險年金制度、切符制度、強制貯蓄、物價調整資金制度並に物資配給機構を擧げてゐるが右に關する政府の具體的方針を示せば大要左の通りである

一、國家管理　重要產業に對する生產配給消費の國家管理を意味するもので、あり差當り研究の對照となるのは米及び石炭であるが、但し米については專賣制度實施の意見も行はれた

一、保險及び年金制度　資金蓄積購買力吸收の新たなる方策として現行の保險及び年金制度の外に新たに別種の制度を設け貯蓄の增加をはかる

一、切符制度　米、麥、醬油、味噌、砂糖、木炭など重要生活必需品について切符制度の實施の可否を研究してゐるがその實施にはドイツに於ける切符制度實施の如く愼重なる準備をなしたる上決定する

一、強制貯蓄　國家總動員法第十一條などに依り貸銀などについて強制貯蓄をなさんとするものであるがこれがため現在の自治的貯蓄の美點を害ふ虞れがある點もありまた中小商工業者などについては法的に強制する方法がないなど考慮すべき點も多い

一、物價調整資金制度　生活必需品の物價騰貴を抑制するため必要ある場合國庫及び助成金を交付すべく、これがため一定額を豫算に計上し置かんとするものである、之を實施するためには特別會計を設置する必要あり同特別會計法案は議會に提案することとならう、例へばマッチの低物價維持のためには助成金の交付に必要ある場合には右會計より支出するのが適當であると考へられてゐる

一、物資配給　機構整備のために何よりも闇取引の絕滅が肝要であり、これがため同業組合をしてその自主的協力に依り統制を行はしめる、これと併行して政府としても經濟警察の強化により成果を圖る

汪氏の勸告拒否

蔣、反汪運動を通電

【香港廿七日發國通】去る十六日汪精衛氏の發表せる最後的停戰勸告通電ならびに新中央政府樹立に關する對策につき考慮を續けつゝあつた蔣介石は今回これを拒否しつぎの工作をとるに決定したといはれる、即ち重慶治下にある和平待望の礎を彈壓すると共に將來新中央政府と關係各國との間に發生すべき外交關係を阻害することについて蔣介石は去る廿五日國民黨總裁の名において全國ならびに海外各地の黨部に對し

凡ゆる機關を動員して即時反汪運動を展開すべしと電命すると共に地方將領に對し反汪通電發表方を勸說した

重慶政府の策動

日米通商失效に雀躍

昨年七月廿六日突如アメリカ政府によつて廢棄を宣言せられた日米通商條約に付ては其後我が政府が屢々米國側と折衝を重ね、新條約の締結を求めたに拘らず、米國政府は此の問題を日本の新東亞建設運動牽制のための政治的手段となし、我が事變處理完遂を妨害するが如き態度に出て居る爲め容易に解決されぬ儘に通商條約失效期一月廿六日は遂に來て、兩國はこゝに無條約狀態に入つた、日米通商條約の廢棄か抗戰重慶政府を雀躍せしめたことは言ふ迄もない、元來、蔣介石政府は抗戰當初より從來の以夷征夷政策を強化すると共に、抗戰能力の維持に付てはその九十パーセント以上と言つても良い位を列國の援蔣政策に依存して來たのであつた、所が歐洲の風雲は昨年夏頃より俄かに急となつて來た結果、援蔣國家群の內、英佛兩國も遂にその渦中に捲き込まれ、最早從前の如き有力なる援蔣政策を繼續する餘裕を失ふ事となつた、その上に戰亂はも一つの有力援蔣國たるソ聯をも渦中に投じて仕舞つた、しかもこれら援蔣國達は極東を顧る遑もない上、複雜怪奇な歐洲情勢はこれらの國々をして却つて對日接近の態度にさへ出でしめたのであつた、斯くて抗日蔣政府は玆に有力なる外國援助を失ふ事となり、正に抗戰外交は行詰りの狀態となり、列國援蔣政策の闘り難さを嘆じたのであつた、此の時突如として米國が日米通商條約廢棄の擧に出た事は重慶政府にとつて、米國が英佛等に代つて對日牽制對蔣援助に乘出して來たものとして、正にSOSを發した難破船の前に大きな救助船が現れ出た如く感ぜられたのであつた、當時の重慶側新聞を見れば日英會談の進行に悲嘆してゐた蔣政府がこの米國の態度に狂喜した樣が社說にまた記事に至る所見られた

×

斯うした情勢に應じて重慶政府の抗戰外交は從來の對英佛中心から對米外交一本槍に進められた事は容易に理解出來る所である、殊にその中心政策は米國をして日本に對する牽制壓迫を行はしめるといふにあつた、即ち日米通商條約廢棄によつて對日牽制手段實行上自由な立場に立つた米國をして、日本と妥協する事なく對日壓迫を實現せしめんとするにあつた、此の對米運動は一月廿六日の失效期切迫と共に愈よ熾烈化し、現在も重慶政府のみならずあらゆる民間團體を動員して對米泣訴に躍起となつてゐる、曩には昨年十月廿七日例によつて宋美齡が黃色い聲をあげて對米放送したが本年に入つてからのこれら重慶側の對米泣訴振りを見れば次ぎの如く如何に執拗な活動を續けてゐるかゞ窺はれる

一、一月二日外交部長王寵惠は重慶廣播電臺から紐育放送局中繼により對米放送演說を行ひ、次の如く米國市民に呼びかけてゐる「本月を以て日米通商條約は失效するが、日本が九國條約を破壞し米國の在支機會均等を脅威してゐるに鑑みれば米國が同條約廢棄の擧に出たことは寔に適當な措置であつた、一九三七年十月五日のルーズヴェルト大統領演說は即ち正義の爲めに抗戰してゐる我々を鼓舞されたものであつたが、更にグルー駐日大使は日本の企圖する東亞新秩序が米國の利益を妨害するものであるのみならず、また世界各國に對する機會均等を破壞するものであることを喝破してゐる、米國大政治家ジョン・ヘー氏の唱へた門戶開放政策は各國の對支機會均等を造成し、又極東の和平を維持したもので、あつた、米國は從來も支那に對してその物質的、精神的助力を盡されたが、必ずやこれが將來も繼續され、以て極東の形勢を修正される事を深く信ずるものである」

二、次いで一月四日午前には米國コロンビア大學出身、哲學博士たる元駐ソ大使現行政院政務處長蔣廷黻が對米放送を行ひ「中國の目的は自由の中國を確定するにあり、世界の各自由の國家と共同合作しもつて世界文明を促進するにある」と同情を訴へ、同日午後にはこれまた米國グリンネル大學及びプリンストン大學の出身、米國哲學博士たる重慶市長吳國楨が對米放送を行つて「重慶を爆擊する日本空軍へ材料を供給する勿れ」と呼びかけた

三、一月七日には米支文化協會幹事某が重慶から對米放送して「米國の最も良い市場たる四億民衆の支那を忘れるな」と述べ同日また重慶市民協會はルーズヴェルト大統領に電報を發して「米國は日本通商條約を改訂繼續する勿れ」と懇請してゐる

四、對米放送演說のほか重慶側はまた在支米人に働きかけ、米國留學出身者を動員して對米泣訴を行はしめてゐるが、一月八日曾つて米國大學に在學したことのある淸華大學生の對支援助決議、また同ハーバード大學出身者同學會は八日成立大會を擧行し「ピトマン上院議員に對し「米國議會が日本の對支戰爭を延長せしむ如き貿易を制止せん事を望む」旨の電報を發出した

五、一方米國に於ても駐米大使胡適は一月九日にはブルクリン大學で演說を行ひ、支那の徹底抗戰を呼號し同時に米國が對日禁輸に有效な措置をとるべきを要請した

以上の如く重慶側は日米關係の離間を策し、米國の對日制裁の實現に躍起の努力を注いでゐるが、此等の重慶側の策動が果して米國朝野にどれだけの反響を與へてゐるか、正確な所は不明であるが、支那が如何に策動しようと、また米國が如何なる態度に出るにせよ、帝國の聖戰目的完遂は何者にも阻害されるを許さぬ既定方針である、今や汪精衛氏を中心とする新中央政權實現の日も極めて接近し、東亞新秩序への道は着々進みつゝあるのであつて、嚴然として且公正なる東亞新秩序の確立こそ、米支ルートの策動を粉碎する最も有力な武器であらう

石炭聯盟 愈よ事業開始

【東京國通】日滿支を通ずる石炭聯盟では愈よ事業を開始することゝなり廿六日工業俱樂部に於て商工省當局との打合會を開き、聯盟側より小林專務、理事勝浦主事、商工省燃料局より勝村企畫課長、多田監督課長入江調整課長外關係官出席協議の結果、先づ需給計畫樹立の基本調査を行ふこととなり調査の範圍、調査事項等につき協議を行つた、當日は未だ具體的決定を見るに至らなかつたが、今後協議を續行し今後の石炭需給緩和に資せんがため基本調査の完成を急ぐことゝなつた

栗木牡丹江領事榮轉

牡丹江領事栗本秀秋氏は今回海南島の海口領事に榮轉、二十四日附發令された、後任は間島省琿春領事瀧山精次郞氏に決定

英回答は和協的

淺間丸事件に懸念の色

【ロンドン廿六日發國通】二十六日午前發出された淺間丸事件に關する日本の抗議に對するイギリス政府の回答文並に日本側の抗議文書は相手側の承認なくしては發表されないが、頗る和協的なものであると確認されてゐる、クレーギー大使が回答傳達に先立ち發表した聲明で日本側に提起した憤懣の聲にはイギリス側も相當懸念の色を示してゐるが、日英双方に於て協議を行ふならば結局友好的な取極めが出來やうとの希望が持たれてゐる

獨潛水艦 一日一隻建造

潛水艦作戰へ集中

【ベルリン廿五日發國通】獨潛水艦の遠洋電擊作戰の活潑化が傳へられて居る折柄、廿五日ベルリン軍事專門家筋は今やドイツの潛水艦建造能力は一日一隻に達し今後潛水艦作戰は加速度的に激化するであらうと次の如く語つた

ドイツの潛水艦建造計畫は今は一日一隻といふ驚くべきスピードを出すに至つた、一方その乘組員も極力養成中で四週間の訓練を經た將兵は立派に兵務に服することになつて居る、從つて今後ドイツ海軍の潛水艦作戰は日一日激化するであらうなほ昨年より相次いで進水した三萬五千トン主力艦フオン・テイルピッツ、ビスマルクの兩號は既に就役に近く實戰に參加する豫定となつてゐる

司法部講習會

法治國家體制の整備に伴ひ直接一般民衆生活と關聯を有する民事法令も漸次多數に上つてゐるが、何れも實施後日の淺いため一般民衆に徹底せざるものがあると共に一方之れが直接運用の衝に當る司法官中に於ても取扱や法令解釋上區々に亙り種々不便の點あるに鑑み司法部では法の運用の適正且つ圓滑化を圖るため左記による司法官の會同及び講習會を今後積極的に開催することゝなつた

一、一般實務家會同　各級法院の日滿系審判官を新京に招集、一週間に亙り一般的の民事實務に關する協議及び研究

一、執行官講習　新京中央司法職員訓練所に於て二週間に亙り日系五十名滿系五十名を入所せしめ再訓練をする

一、登記係書記官講習會　商業登記、法人登記、一般登記事務を中心とする一般登記事務の指導講習を新京中央司法係員訓練所に於て約二週間に亙り區法院及び同分所の滿系登記係書記官卅名の招集を行ふ

共產邊區を包圍

【香港廿六日發國通】山西、山東、河北、陝西各省における國共兩軍の闘爭は日と共に激化しつゝあるが、重慶よりの情報によれば、蔣介石は過般の要人會議の決定に從ひ各戰區の軍隊配置は軍事最高指揮官の統一戰略的方針に從ふべきことを指示して共產黨の八路軍湖州移駐要求を婉曲に拒否することに決したといはれる、これと同時に蔣介石は山西軍ならびに鹿鍾麟、石友三軍と共產軍間の武力衝突調停のため馮玉祥を河北山西兩省に派遣したが于右任、戴天仇、居正、陳果夫以下國民黨元老派はこの際斷乎共產黨懲罰の手段に出づべしと主張し閻錫山、薛岳、龍雲その他地方實力派の支持の下に何應欽を表面に押立て反共運動の第一歩として赤色ルートからの八路軍に對するソ聯の武器供給を遮斷せんと企圖しつゝありそのため重慶、延安間には新たなる重大紛議が捲起されんとしてゐる、一方重慶の中央黨部は最近一般青年および公用を帶びざる黨政軍の人員の陝西、甘肅寧夏の共產邊區への入境を禁止しかつ右邊區における三民主義青年團および一般民衆の組織を強化し共產邊區の包圍、孤立の作戰を着着と進めてゐる

石油供給問題に 獨、英佛對立激化

羅國、板挾みに苦悶

【ブカレスト二十五日發國通】ルーマニアの對獨石油供給問題を續つてドイツ及び英佛の對立が尖銳化してゐる折柄廿五日ルーマニア官邊の洩すところに依ればドイツ經濟代表クロゲーウス氏はルーマニア政府に對し石油の豐富な供給如何はドイツの死命を制するものである以上若しルーマニアの石油供給がドイツを滿足させ得ない場合には、ドイツはどの方法に訴へてでも石油供給の途を確保せざるを得ぬと威嚇に等しい強硬態度を披瀝したといはれ、ドイツ軍の東カレリア進出と關聯し大センセイションを起してゐる、一方英佛兩國政府は先般ルーマニアの石油委員會設置に關しルーマニア政府に對し強硬警告を發したが、現在ルーマニア石油產業の八割は英佛米三國資本の所有に歸してゐる現狀に鑑みルーマニアとしては英佛の警告を無視してドイツへの石油供給を滿足せしめ得る譯には行かず全くその立場に窮してゐるといはれてゐる

バルカン駐剳獨公使會議開催か

【ブダペスト二十五日發國通】確聞するにルーマニア駐剳ドイツ公使ファブリツィウス氏は本國政府の命により廿五日突如ベルリンに歸還した、當地に於て傳へられるところによればルーマニア、ハンガリー、ユーゴスラヴィア、ギリシャなど各國駐在ドイツ公使連は何れも本國へ歸還を命ぜられて居り、ベルリンに於て公使會議が開催されるはずであると云はれ、バルカンの動きが重視されて居る折柄右報道は頗る注目されて居る

藤原商相 星野長官懇談

【東京國通】藤原商相は廿六日の閣議散會後午後六時半首相官邸に於て星野滿洲國總務長官と會見、撫順炭の增送その他當面の諸問題につき懇談、滿洲國の協力を求めた

文部辭令

正三位勳三等 菊池豐三郎 任教學局長官（一等）

教學局長官 小林光政 依願免官

神武天皇三聖蹟
文部省で内定さる

【東京國通】皇紀二千六百年を期し文部省では神武天皇聖蹟の調査を行つた結果左記聖蹟三ケ所が内定、來月初旬正式に發表される豫定である
△雄水門傳說地　大阪府泉南郡雄信達村及び樽井村
△雄男門傳說地　和歌山市水門吹上神社附近一帶
△難波之碕傳說地　大阪市の東區から北區に亘る臺地
この三聖蹟のうち難波之碕は吉備高島の宮を御進發あらせられた神武天皇が御上陸になつた地、また雄水門は皇兄五瀨尊が長髄彥軍との戰ひで流矢に中り給うたので、一旦軍を返し西下の御途次大阪灣から雄水門に御寄港、こゝで五瀨尊の矢傷痛みますこと甚しく雄叫びをあげて薨去し給うたと傳へられ日本書紀には雄水門、古事記には男水門と記されてある

寒風を血に染め
櫻花一輪散華す
オルドスに榎並中尉戰死

【〇〇二十六日發國通】北部オルドス高原を鮮血に染め護國の鬼と化した幾多皇軍勇士の中に櫻花一輪とも謳はれるのは〇〇部隊榎並豐吉中尉の戰死である、二十二日早朝トラックを連ねて〇〇を出發した〇〇部隊の一部は新明侼（包頭東南方四十キロ）にさしかゝるや突如先方より猛烈な射擊を受けたわが勇士は間髪を容れず應戰の火蓋を切つたが敵は名に負ふ小張侼の二千餘、城壁前方には哈什拉河を橫たへ數丈に亘つて築いた堅固な陣地と天然の要害とにより一步も我を近づけじと迫擊砲、重機の砲火を浴せる、我方はこれに對し包圍態形をとりじりじり敵陣に肉薄して行つた、此時正面に押し寄せた榎並中尉（名古屋市西區御幸町出身）の率ゐる一隊は味方の配陣良しと見るや直ちに突擊に移り彈雨を衝いて突進した刹那飛び來つた一彈は先頭に立つた榎並中尉の右頰を頸部に貫き軍刀を打ち振りつゝその場にどつと打ち倒れた「隊長しつかり」當番兵梶原上等兵が駈けつけると血を吹く顏に拳を當てゝ何事かを叫ばんとするそれと察した梶原上等兵が中尉の耳に口を寄せ代つて天皇陛下萬歲と稱へると聞えたか頷きつゝにつこり笑を浮べたまゝ壯烈な戰死を遂げたのであつた、かくて戰は夜に入り交戰實に八時間の後高らかに感激の日章旗が飜へり敵屍數百を殘す赫々たる戰果を收めたのである、この戰鬪により丸岡軍曹は城内に突入の刹那迫擊砲の破片を右腕に受けたが豪毅にも銃を左手に持ちかへ、なほ進まんとする時第二彈は更に左肩をも貫き步行全く困難に陷つたが、かくては味方の士氣にかゝはると齒を喰ひしばつて尙も進擊を續け遂に自ら城壁高く感激の日章旗を飜へしたのであるこの勇猛果敢な行動は全軍感激の的となつてゐる

鄕土開拓民へ
鍬臺四萬臺奉仕
西村氏へ註文頻發

【秋田國通】滿洲開拓戰士への誠意と汗の贈物＝秋田縣出身鍬の戰士は多數に上つてゐるが、これら鄕土戰士にせめて使ひ馴れた農具を送りたいと仙北郡大川西根村字中澤の西村隆藏（五八）氏は鍬臺四萬臺製造送出しを發願し目下孜々と製作中である、農民にとつて鍬臺の出來工合如何は作業能率に關係するもので開拓地から是非内地で使つた鍬臺に限ると頻りに送附方の要望があつたが何しろ資材不足、勞力不足でこの聲に應へることが出來ない有樣こゝで西村氏は「よし俺が引受けやう」と決心し時節柄高いのと品不足で入手困難な用材の調達に營林署や關係方面を歷訪して事情を打明け漸く用材を入手、今年秋までに一萬臺を製作、而もその費用は一臺八十五錢といふ廉價で奉仕することになつた、引續き更に計四萬臺を送る豫定であるが西村氏は語る

知つてゐる人々や嘗つて私の作つた鍬臺を使つた人から送つて呉れと頻りに言はれ、私としても大陸に奮鬪してゐる人々の氣持に應へたいとまあ懸命にやる決心です

金店の營業許可
申請期限は來月一杯

去る一日より施行された改正產金買上法に基く金店許可制は現在の金店營業者に對し二ケ月の猶豫期間を設けて金地金、金の合金又は金の賣買許可申請方を所定の書式により最寄りの中銀を經出し經濟部大臣宛なさしめることゝなつてゐるにも拘らず、施行後既に一ケ月に垂んとする今日全滿約八十の金店中營業許可申請を提出せるものは未だ皆無の狀態である、これは金店の故意に依るものか乃至改正趣旨の不徹底によるものかは不明であるが何れにしても二月中に營業申請を怠り二月末日以後依然として金賣買行爲を營んだ業者は當然營業中止を命ぜられるのみならず、次第によつては三年以下の徒刑又は一萬圓以下の罰金に處せられ又當該行爲の目的物の價格の三倍が一萬圓を超える時は罰金はその價格の三倍以下を徵收せられる事となつてゐるので、政府においてはかゝる無益の違反を事前に避けしめる親心から可及的速かに營業申請方を要望してゐるが、一方許可制趣旨の不徹底をも一應考慮し、この程東滿の佳木斯、間島牡丹江、北滿の黑河、北安の各省に二班よりなる關係官を派遣し當該省公署の警務科長その他取締官に許可制趣旨の徹底方を依賴し業者の申請を極力慫慂せしめることゝなつた

日比スポーツ交驩
興亞競技に比島出場決定

【マニラ廿六日發國通】皇紀二千六百年を記念し來る五月擧行される興亞競技大會に大日本體育協會から正式招待を受けた比島體協ではこれを受諾するに決定、陸上、庭球、拳鬪、レスリング、籠球、蹴球等五十六名の大選手團を派遣することゝなつた

五十六名大擧派遣

水泳選手を招聘

●【マニラ廿六日發國通】比島體育協會では立教大學水泳部新井茂雄、大浦誠一郎、本間俊夫、坂本駒一の四選手を三月下旬比島に招聘するに決定した旨廿六日發表した

木村、加茂兩選手
比島へ派遣

【東京國通】來る三月下旬マニラで開催される國際庭球大會に過日フイリッピン體育協會から招聘を受けた日本庭球協會では取敢へず去る十九日直ちに欣然參加する旨フイリッピン體育協會名譽主事イラナン氏宛打電したが、これが派遣選手については廿四日理事會を開いた結果、男子山縣龍三（慶應）或は木村靖（早大）女子加茂純子（田園倶樂部）を希望して來た關係上フイリッピン側の希望を容れて木村、加茂兩選手を代表に推薦することに決定、六日發表した

園公容態
目下心配なし

【興津國通】西園寺公の容態は二十六日夜に入つて體溫三十七度六に上昇したが八時三十五分着列車で來興した舊主治醫三浦謹之助博士は出迎への原田男とゝもに直ちに坐漁莊に入り夜中にも拘らず第一回の診察を行つた結果午後九時十五分現在の診斷結果を左の如く發表した

體溫三十七度六分、脈搏七十五、呼吸二十二、體溫變更の際咳、喀啖あり舌苔僅少、發熱は氣管支カタルのためで餘病なし目下の容態は心配するに及ばないが何分老齡のため注意を要する

なほ三浦博士は三十日まで水口屋に滯在勝沼博士とともに西園寺公の看護に當ることになつた

甲種は一層嚴格
乙種は三分し新規格を適用
陸軍の徵兵檢查規則大改正

【東京國通】陸軍では軍備の擴充に伴ひ要員の增加、兵種の複雜分業化に鑑み現役兵としての入營人員の增加を圖り且つ趣旨徹底を期する目的から今回陸軍身體檢查規則に大改正を加へ省令を以て二十七日の官報で告示することになつた

改正の主眼は身體、精神上の疾病または異常のある壯丁でも軍醫學上から見て差支へないと認められるものはどしどし現役兵として入營されるやう身體檢查の條件を著しく緩和し要員の增加を圖るにあり、例へば身體に一部缺陷があつても體格頑健なものは努めて第一乙種に編入しまた丙種の條件も著しく低下させ目、鼻、耳、手指、足指等に故障があり今まで入營出來なかつた者もどしどし現役兵として徵集することになり丙種の徵集免除者も特別身體の惡い者でない限り乙種に繰上げられまた第二乙種の下に第三乙種を新設した

なほ從來の甲種合格の條件は今回の改正で却つて嚴格となり身長も從來の一米五十センチから一米五十二センチ以上に、胸圍は身長の半分以上に、更に筋骨薄弱ならざるもの、特記すべき病狀なきものと云ふ新條件が追加された

自動車會社創立三周年記念

興安大路五〇七新京自動車株式會社では來る二月十日創立三周年の記念日を迎へるが、この日同社では午前十時から記念式典を擧行、同午後六時から滿鐵白菊倶樂部に於て家族慰安會を開催する、なほ式次第は左の如くである

一、開會の辭一、國旗に敬禮一、國歌合唱一、社歌合唱一、社長訓辭一、來賓訓辭一、社員代表答辭一、勤續社員表彰並に記念品贈呈一、閉式

鑛業協會視察團

滿洲鑛業協會では日本國内各地の鑛業狀況を視察すべく滿洲鑛業開發株式會社理事長竹内德亥氏を團長に在滿鑛業關係者赴日鑛業視察團を組織二月三日午後六時五十分のぞみで新京發廿五日間に亘り遠賀鑛業、高松炭礦、住友工場、別子鑛山理研、燃料研究所、日立製作所等を視察することとなつた

興銀株主總會

興銀では來月十二日午前十時より本店會議室に於て第五回通常株主總會を開催第五期營業報告書、貸借對照表、財產目錄及び損益計算書を附議承認、同期利益金處分案を議決、次いで監事孫澈氏任期滿了に伴ふ監事一名選任の件を附議する

西南部國境の共匪を討伐

熱河省警務廳發表＝十九日興隆縣西南部國境に共產軍九百の越境あり、興隆縣警務科では直に討伐隊を編成六道河方面の主力には神内科長自ら指揮官となり又黃涯關方面の討伐隊は小野警尉が指揮官となり廿日寒風凜烈たる拂曉を期して出動將軍廟國境青山の地點において匪軍と交戰、多大の戰果を收めて國外に放逐した

日本近海で外船遭難
米ケソン號救援
浮島丸外二船活躍

【鹿兒島國通】アメリカ汽船プレシデント・ケソン號（一四、〇〇〇）は神戸から上海に向け航行中廿七日午前四時頃鹿兒島縣種ケ島沖合龜割岩附近の暗礁に乘上げ危險に瀕したので直ちにSOSを發した、鹿兒島無電局では午前四時十四分右SOSをキャッチすると共に附近航行中の船舶に手配したが、現場から二十五浬の地點を航行中の大阪商船の那覇、神戸間定期船浮島丸（四、七三〇トン）は鹿兒島無電局からの救助手配に依り直ちに現場に急行同七時十分現場に到着と共に救助作業に着手、ケソン號の船客十三名を浮島丸に收容した、船員は本船に居殘り防水作業を行つてゐるが坐礁と同時に船底を破損して浸水甚だしく目下の處自力離礁不能と見られ、船體放棄の已むなきに至るのではないかと見られるが、救助船浮島丸は尙現場にあつて嚴重監視を續けてゐる

尙右遭難無電に接した鹿兒島縣警察部では救助船浮島丸と無電連絡をとり救護の萬全を期してゐる

【鹿兒島國通】種ケ島南方の暗礁に坐礁したケソン號の救助作業は波浪高きため困難を極めケソン號船長は船體が後部より沈下しはじめ愈よ危險に瀕したので船員の救助船移乘を決意せるもの丶如く浮島丸に續いて現場に赴いた常磐丸、菊川丸等が協力して乘組員收容に全力を盡してゐる

遂に沈沒

【鹿兒島國通】浸水甚しく遂に後部より沈沒し始めた遭難船プレシデント・ケソン號は午前十一時四十五分全く沈沒した、最後まで船内に殘つてゐた船長以下乘組員もボートに移乘し目下救助船常磐丸、東生丸、菊川丸三隻が乘組員を收容中である、なほ商船浮島丸は船客十四名を救助、殘餘の乘員救助を前記三隻に依賴し午前十一時神戸に向つた

猩紅熱は七十一名發生
國都の傳染病調べ

西廣場小學校全一年生猩紅熱禍による一學年の一週間休學に鑑み國都傳染病現患者數を祝町中央衛生試驗所の統計からみると（二十五日現在）▲赤痢二名（發生五、全治三）▲腸チフス二二名（發生四三、全治二〇、死亡一）▲猩紅熱三六名（發生七一、全治三四、死亡一）▲疫痢（發生二死亡二）▲パラチフス、痘瘡（發生全治各一）▲ヂフテリア（發生、全治各五）合計現在數六〇名、發生一二八名、全治六四名、死三四名）で流行期だけに猩紅熱が最高位、次が腸チフス、赤痢ヂフテリアの順となつてゐるが、昨年一月に較べると約二倍の激增ぶりである

諸船フ號放棄
乘組員は救助さる

【大阪國通】ノルウエー汽船フーヤン號（三、三五九噸）は二十六日未明八丈島附近で遭難、S・O・Sを發したので日本郵船氷川丸が救援のため急行したが二十七日早曉郵船大阪支店への入電によれば同船は二十六日夕刻現場に到着フーヤン號乘組スコーリ船長以下四十四名中二十五名を無事救助した、なほ殘餘の十九名も無事他の船（船名不明）に救助された

【東京國通】銚子無線入電によれば廿六日八丈島附近で遭難したノルウエー汽船フーヤン號の乘員は全部救助されたが船體は遂に放棄するの已むなきに至つた

木材販賣價格
一兩日中に決定

滿洲に於ける木材は昨年末の統制强化に依り從來の民間四割の自由材及び輸入材についても滿林の手に依り一元的にこれを行ふことに決定し、滿林の收買價格公定發表を見、これに引續き滿林の販賣價格決定につき林野局に於て檢討中の所本年度は大體前年度据置きの意見通り一兩日中に發表の模樣であるが、收買價格前年度に比し約二割高なるに對し販賣價格が据置きに決定を見ることは政府の低物價政策に即應するものとして民間木材の配給にも多大の期待がかけられてゐる

二人組ニセ刑事

二十七日午前零時五分頃曙町二ノ一二更科出前持林貞聯（一八）君が入船町と八島小學校中間道路の暗闇を通行中、突然ヌッと闇の中から現れた二人組滿人刑事が林君の前後を圍んで「刑事だ、檢査するぞ」と威しポケットから現金十圓餘を强奪闇の中へ姿を晦したとの訴へに接した中央通署では直ぐ樣各派出所へ一齊手配し一見三十歲位黑オーバーに黑の防寒帽の人相を賴りに搜查したが未だ檢擧に至らない

東邊道の難民八百名を救濟

滿洲博濟慈善總會ではさきに協和會が宗教家、社會事業家十五名を派遣、十一月五日から一ケ月間に亘つて視察した東邊道難民調査に基き五歲以上十五歲までの孤兒や扶養者なき鰥寡婦八百名を救濟することとなつたが收容者は各省縣市旗

近藤三雄氏赴任

總務廳統計處資料科長から哈爾濱副稅關長に榮轉した近藤三雄氏は三十一日午後零時五十三分發列車で赴任する

・・・・東京手形交換所理事長・・・・

【東京國通】安田銀行副頭取森廣藏氏は今般後進に道を開くため東京手形交換所理事長を辭任することゝなり廿六日の同所會合で後任には東京銀行集會所會長明石照男氏（第一銀行頭取）が選任された、なほ東京銀行集會所長後任は現副會長加藤武男氏（三菱銀行會長）に決定した

中銀帳尻

二十五日の中銀帳尻左の如し（單位千圓、△印減）

	帳尻	前日比增減
紙幣	[illegible]	[illegible]
鑄貨	[illegible]	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

名作"土"を見て 彼女は何を得た
敷島高女生の手記

長塚節の名作を內田吐夢がじつくりと腰を落着けて作つた日活多摩川映畫「土」は昨年度日本映畫の最高峰を行くものとして絕讃されました、勘次（小杉勇）おつぎ（風見章子）卯平（山本嘉一）與吉（ドングリ坊や）の四人が描く貧農の一年はまた教育的に見ても意義あると思はれます、今回敷島高女生徒が觀覽しましたが、若き乙女達がこの映畫から何を得たでせうか、それらを調べて見るのもまた興味あることゝ思ひます【カット寫眞は「土」の一場面】

この映畫が描かんとした農民の辛苦は勿論彼女達が第一に感じた事であつて何れも口を揃へてこの點を力說してゐますがそれが何か上すべりしてゐる樣な感じで單に映畫の表面に現はれたものゝみで判斷してゐるのは、この年頃の人々の映畫觀としては當然ともいふべきで、眞に土に執着する農民―しかも貧農の生活以外に何ものも無い姿を見てゐる人々が案外少い樣でしたこれは大陸的な植民地風な生活の中に育てられて、內地の貧農の生活を知らない若い女性としては、或はさう感ずるかも知れないと思はれますが、極端なのでは「この映畫がどうして土といふ題がつけられたのかよくわからない」といふのさへありましたが「あまりにも暗い氣持で氣が晴れない」といふのや、おつぎが洗髮をしてゐる時に村の男からからかはれる所に乙女的な憎惡感をもつたり（これは殆ど共通的な感想でした）するのは結局これらの人々の年齡や生活、周圍としてうなづけることです、唯誰でもがよく觀察してゐるのは流石に自分達と同じ年頃のおつぎの心情で、誰もがおつぎに對する感想を詳しく書いてゐますが、何れも當を得てゐる樣で、特に勘次になぐられてから後で勘次が母のかたみの着物をおつぎに出してやる場面のおつぎの心をいろいろ語つてゐるのは微笑ましい感じです、次に感想の中から代表的なものを二、三拔いて見ませう

X・Y

あんなに土にまみれて働いてゐるのにどうして惡い事ばかり續くのでせう、可哀想でたまりません、家を燒かれても何くじけなかつたおつぎは大變雄々しく偉いと思ひました、おぢいさんと孫のたはむれる所、子供は家の貧しさを忘れた樣に無邪氣な所はほんとに微笑ましいと思つた、金持の家の嫁入の場面は面白く、又大變珍らしく思ひました、黃金の波の樣にお米が稔つて頭を下げてゐるのは何とも言へぬ嬉しさが私に泌こみ上げて來ました、おつぎがお父さんに叱られて、叩かれ泣きふした時、終にお父さんが着物を出してあげた時は本當に可哀さうで、何だか自分まで悲しくなりました、おぢいさんが邪魔者扱ひにされた所は同情しました、火事の爲燒出された親子を見ては正視する事が出來ませんでした、お父さんが始めから最後まで笑ひ一つ出しませんでした、本當でせうか、笑ひを忘れた人の樣でした、日本の百姓さんの中にもあんなに可哀さうな人があるのかと思ふと氣の毒でなりません、しかし最後の雪をのけて、親子が黑いもくもくとした土を掘出す所は本當に淚の出る程嬉しかつたです、とても氣持が好かつた

Y・S

農村の生活に對する認識をこの映畫によつて汲みとることが出來た、これがこの映畫を見た最大の喜びであらう、因習にとらはれてしかもこれを打開することが出來ないでゐる、勘次と卯平とのいざこざ、村民の卯平に對する同情など、結局はすべて田舍人の素朴さが爲したので、勘次の眞の性質を知ることが出來なかつたのである、又卯平も婿は憎いが、孫は可愛い、といふ老人らしい態度もよく畫面にあらはれてゐた、おつぎは年はせいぜい十五、六と思はれるが、父と爺の板ばさみにもくじけることなく、常に兩方の和解につとめ、特に火事の後にあつて「畠が燃えた譯ではない」と言つたその言葉に眞に女の強さを知つた、總ての和解成つて開拓の喜びに燃える時、最後の場面を深く掘りさげたのは、人の胸をうつものが一段と大きくなつたであらう、この後はおしなの死後、父の借財からのがれやうとする勘次の狂人的な働きも、おつぎの勞苦も報はれるであらう

O・E

私達は生れてから死ぬまで土を離れることがない、仰いで慕ふ空を父に例へたら觸れて懷しむ土は母であらう、私は長塚節原作の「土」を見て、土と人との間に切つても切れない關係のある事を深く感じた、家が全燒して無一物になつた時「家は燒けたけれども、畑は燒けないぢやないか」と絕叫の父勘次を勵ましたおつぎの言葉、私はこの言葉が耳にこびりついて居て離れない、何といふ力強い言葉であらう、何といふ深い意味の言葉であらう、私には此の言葉が「土」の中心をなして居る樣に思はれる

土をめぐる悲劇とでもいはうか、餘りに暗い、悲慘であると言ひたい、然し世の中にはこの樣な悲劇が幾らでも行はれて居るのだ、そして淸らかな淚によつて征服されて行くのだ。

母なき後を父と祖父と弟とに仕へ乍ら、懸命に働くおつぎの健氣な心には頭が下る、まだ大人になつて居ない無邪氣な少女に借金の苦しみを與へ、大人の間のみにくい心の爭ひを常に知らしめて居た運命の中で、淸らかに優しく生きて居るおつぎはほんとに偉い娘だと思ふ、私にはとてもとても眞似は出來ない

一體勘次はどんな心の人だらう、私にははつきりわからない、然し借金に餘りにこだはり過ぎて居る爲に元來は素朴な美しい心であるのに勘次もあの樣な變人になつてしまつたのであらうとは思ふ事が出來る、あの映畫によつて妻に亡くなられて後、自分で育てた娘に對する父親の心をいろいろと教はつてしみじみと考へさせられた

舅は婿を、婿は舅を互に心の中で憎み合つて居る、然しその心の中に言ふに言はれぬ淋しさの流れて居ることを感じた

舅と婿、祖父と孫、父と子の夫々の關係の中を默々として流れて居る心、然しそれ等の心は終に融け合つた和やかな春の日にとける雪の樣に、人の心はみにくいものなのだ然し又この上もなく美しいものなのだ

人の心に美しい淚がある限り、どの樣な爭ひも何時かは和むだらう、そして何時かは一致するのだ、まして同じ土より生れ、同じ土にかへつて行く人間であるからは……

2600年 奉祝國民舞踊
中山氏苦心の振付

國運隆昌の一新紀元を劃する友邦の光輝ある紀元二千六百年を迎へ滿洲帝國四千萬民衆齊しく廣大なる聖恩に感激してゐるが、來る二月十一日の紀元の佳節に當り、協和會中央本部では民生部の委託を受けて奉祝の國民舞踊を考案、當日は全滿の各學校、各團體一齊にこの國民舞踊を行はせることゝなつた、これは協和會囑託現新京舞踊學院長中山義夫氏が東部國境に赴き苦心の振付によるものです

注意

「踊る前に先づ解說をよく讀んで、それから寫眞の番號を合せて踊つて下さい、そして踊る時は太陽に向つて前進する樣な氣持で力強く元氣一杯に踊つて下さい

踊り方

この解說では一人で踊るやうになつてゐますが、學校やその他の團體で踊る場合には國旗を中心に圓陣を作り、圓心に向つて踊つて下さい、圓陣は二重でも三重でも多い方が結構です、但し外圓は內圓の二倍ぐらゐの人員を適當に配合して下さい、それから日滿國旗を兩手に持つて踊るのも面白いでせう

用意

1 前奏で寫眞（一）の如く立ちます

2 金鵄、で寫眞（二）の如く左足を左橫に踏み開き兩腕を肩と水平に開き上げます

3 輝く、で寫眞（三）の如く右足を左足の後方に引き兩腕を伸ばした儘更に上げ頭上に高く掌を着けます

4 日本、で寫眞（四）の如く右足を元の位置に踏み兩腕を伸ばした儘肩と水平になる迄下します

5 の1、で寫眞（五）の如く左足を右足の後方に引き兩腕を左右に下します

6 榮ある光、で寫眞（六）（七）（八）の如く兩手で前方に圓を描きつゝ左足から三步前進し頭上に兩手を高く止めると同時に掌をかへ左右に開き肩と水平に迄下ろし右足を左足に引きつけます、寫眞（九）

7 身にうけて、で寫眞（十）の如く兩腕を左側へ低く振り下し左足を右足の後方に引きます

8 いまこそ祝へ、で左足を左側に踏み出し寫眞（十一）から左に圓型を描きつゝ寫眞（十二）の如く上方に兩腕を伸ばし右足を左足に踏み揃へ兩腕を伸ばした儘右に廻して寫眞（十三）の如く更に左足を前進兩腕を左側上方に伸ばします（この足の運び方は所謂ツーステップで左右右と行ひます）

9 この朝、で寫眞（十四）（十五）（十六）の順にいまの逆を行ひます

10 紀元は二千、で寫眞（二）になりその儘左に向を替へ寫眞（十七）の如く左手を頭上に高く上げ右手を前方に伸ばします

11 六百年、で寫眞（四）に同じく正面に向き直り直ちに寫眞（十八）の如く右に向を替へ右手を頭上に高く上げ左手を前に伸ばします

12 あゝ一億の、身體を正面に向け返し寫眞（二）より寫眞（十九）の如く右手を左肩に置き右足を左足の後方に引き次に寫眞（二十）の如く右手を前方に高く伸ばし左足から三步後退します

13 胸はなる、で寫眞（二十一）の如く右足を左足に交叉する樣に踏みかぶせ兩腕を水平に開きつゝ左に廻り、廻り終ると同時に寫眞（二十二）の如く兩腕を胸の前で組みつゝ寫眞（二十三）の如くサッと開き頭上に伸ばし右足を強く踏み揃へます（腹の底から萬歲を叫ぶ氣持で）以上を繰返し踊ります

聖蹟巡り（一）

一億國民擧つて感激に迎へる紀元二千六百年の春、八紘一宇の大御心を畏み仰ぎ奉りて、皇祖發祥の地日向の御神蹟の地を始め神武天皇御東遷の御史蹟の地を巡つて皇宗の御遺業をしのび奉り、又、二千六百年の昔天皇御東征に仕へまつり勇躍奮闘して天業を翼賛し奉れる吾等が祖先をも併せ想ひ、今や興亞の大業に邁進する秋、祖國認識、敬神崇祖の信念を振起し非常時局に處する心としたい。天孫瓊々杵尊は天照大神の神勅により三種の神器を奉持して日向高千穗に天降りましまして、悠久窮無き皇基を固め成し給へりと傳へらる。古來この天孫降臨の地は傳說に二說あり、その一は日向、大隅堺の霧島高千穗の峰を中心とするもの。その一は日向西臼杵高千穗郷である。右のいづれも事實として傳へられてゐる

【寫眞は（上）霧島高千穗の峰（下）日向臼杵高千穗二上山（中央双になつた山）】

若いマダムよ
榮養を攝つて下さい

結婚してあまり年の經たない、未だ若い盛りのマダムで、御主人は會社やお役所の用でよく出張されるといつた方、或は御主人が宴會が多くてあまり自宅で食事されないといつた淋しい若いマダム方からよく聞くのですが「寒くつて寒くつていくら煖房を利かしても冷えこんでたまらないんですよ」……

あんなに 若くてお丈夫さうだのにまさかホルモンの不足でもあるまいし…で首をひねつた結果からいふ結論を得たわけですが留守をお守りの若い奥様方よ！御異議が御座いませうか？日本の御婦人は至つて殊勝です、御主人のためにはお金もお骨折りも惜しまないで美味しいものを、榮養の豐かなものをと腕によりをかけて調理されます、でも夫が居ないとなると「こんな時こそ節約しなければ」と粗末な食事で我慢されるのです、それ程の殊勝さは持合さなくても自分一人のために食事をとゝのへることの五月蠅さから、ついつい簡單に簡單にと有合せの佃煮や罐詰や漬物でお夕飯を濟ますことが多くなります、子供でもあれば未だしも獨り居の氣易さはついかうしたことになり勝ちです、毎日

相當量の カロリー を攝つてさへ寒さのこたへる滿洲の冬ですもの、若いマダム方よ！貴女の幸福と健康のためにどうぞ面倒がらないで榮養たつぷりなお食事を調理なすつて下さい

家庭メモ

さし茶は不經濟

△……お茶を入れます時、どこの家庭でも出しがらになつたお茶に、さし茶とか摘み茶とかいつて、新しい茶をつまみ入れる習慣がありますが、これは經濟のやうで不經濟ですから改めて下さい

△……出しがらの茶には非常に悪い茶ばかり殘されるもので、この上に新しい茶を加へれば、折角の新しい茶のうま味までぶちこはされてしまひますので、一擧兩損です

小豆の茹で方

△……小豆を茹でる時重曹を加へると早くやはらかにはなりますが、著しく味を悪くし又腐敗し易い缺點があります、肉や味噌を買ふ時包んでくれる竹の皮を捨てないできれいに洗上げてとつてをき、小豆を煮る際小さく切つて二切か三切入れて一緒に煮てごらんなさい、奇妙に早く軟かに美味しく煮えますから

レコード
輕音樂 一月新譜

マ…**ビクター**ではお正月向きのものでウエーバーの提琴獨奏による「聖しこの夜」といふ美しいクリスマス音樂が出てゐるが、ドイツ風の品のある輕音樂としては家庭的にも迎へられていいものであらう、古典曲としてはフランス十八世紀の人ボアルデイウの作曲による「歌劇バグダッドの太守」序曲」が出てゐるが、演奏はシュマルステイッヒ指揮で伯林國立歌劇場管絃團である、ベニー・グッドマンがバッハの古典曲の手法をジャズ化したものとして「バッハはジャズる」は、その自由奔放にこなす力に引かれる、樂器の巧な使ひ方には日本では聞けないニユアンスのある音を伴つてくる、尙ニグロのハンプトンが優秀なプレイヤーを集めた演奏のもので「お上品な人達」と「戀人オン・パレード」といふ粋なレコードがある、久し振りのクリントンめ「わたしの夢」も興味をひくフオックストロットであらう

マ…**コロムビア**は先づ輕音樂選の第十四輯として抒情音樂集三枚組を出した「荒城の月（フルート）」や「愛の悲み（ヴアイオリン）」やマクベスの「三色菫（管絃樂）」などが入つてゐる、古賀政男が南米土產に持つてきたタンゴとワルツは何れもフレッシュでこの樂器の使ひ方のうまさは大きな魅力である、殊に「女の歎き」と「想ひ出」は佳作に入るもの、この他にダンスレコードの演奏は大抵いつも顔ぶれたがナット・ゴネラ管絃團の「ホールド・タイト」のやうな流行曲からロニー・ムシロ管絃團の演奏による「可愛いクリノリン」のやうな何れもフオックストロットだが、抑々ヴオリユームのあるスヰングは矢張りいい

マ…**テレフンケン**の輕音樂傑作選第十三輯はカンドリックス樂團の佳作を集めたものを出してゐる、曲目は「ハレムの眞夜中（フオックス・トロット）」と「テイピテイン（メキシコ風ワルツ）」を始めいい曲があつめられてゐる、カンドリックスの指揮をきいてゐると非常にスヰングを重視しながら、何かメカニックな音の生み方が特徵になつてゐるやうだ、これをドイツ的と言へば言へるのだらうが「タブー」のやうなルムバ曲をきいてゐるとアメリカナイズされない輕音樂をきいたやうなセンスのある事は事實だ、此他に「蛇使ひ」「タイム・シグナル（フオックストロット）」などが三枚六曲收められてゐる

マ…**ポリドール**は人氣者ビングクロスビーのアルバムを發賣した、これも三枚組で收められてゐる、曲目は「ブルー・ハワイ」「夕陽に輝く帆」が嘗てのヒット盤であり、他に「懐しのカウボーイ時代」「シユー・シヤイン・ボーイ」と「スヰート・レイラニイ」「島の唄」のやうなハワイアンに特有のやはらかい謡をきかせるがこれらは何れもクロスビイフアンには向くものに違ひない曲目ばかりだ、むしろ一般にはグリン・グレイの「インドの歌（サドコ）」の方がスヰングの點ではずつと興味のあるものと言へよう

ラヂオ けふの番組
廿八日【日曜日】【M・T・C・Y】新京放送局

朝

七、〇〇（大阪）神社めぐり、官幣大社伊弉諾神社＝兵庫縣津多郡多賀村同神社より中繼＝

七、三五（新京）建國體操

七、四八（大連）入港船のお知らせ

七、五〇（新・東）ニュース

八、二五（新京）氣象通報

八、三〇（新京）管絃樂（レコード）抒情的組曲（グリーグ作曲）ロンドン交響管絃樂團、指揮ランドン・ドナルド

九、三〇（東京）ラヂオ日曜學校 一、ラヂオ日曜學校の歌 齊唱日の丸童謡音樂園兒 二、お話「國旗に付て」侯爵德川義親 三、愛國童謡集（イ）つばさ行進曲（ロ）兵隊さんになつた氣で（ハ）國旗掲揚の歌 四、お話「日の丸」横山美智子 五、はなしあひ 東京市大向小學校兒童 六、感謝の歌、みんなありがたう

一〇、〇〇（東京）週間を顧みて（錄音）

一〇、四〇（東・大）正月行事（錄音）

晝

一一、五〇（東京）經濟市況

一一、五九（東京）時報

〇、〇一（新京）琵琶（レコード）宇治川（田中旭嶺）川中島（榎本芝水）

〇、三〇（東・新）ニュース

一、〇〇（東京）青年落語の午後、豆屋（三升家勝太郎）一升酒（柳家富士樓）萬金丹（柳家小きん）その他

二、〇〇（新京）全滿氷上選手權大會、アイスホッケー決勝戰實況＝新京兒玉公園リンクより中繼＝アナウンサー渡邊仁三

四、〇〇（東・新）ニュース 氣象通報

五、三〇（新京）管絃樂（レコード）マヅルカイ短調（ショパン作曲）時の踊り（ポンキエリ作曲）ラ・トラヴイアタ（ヴエルデイ作曲）スラブ狂詩曲（チャイコフスキー作曲）フイラデルフイア交響管絃樂團他

夜

六、〇〇（東京）歌繪卷「すめらみくに」獨唱高橋祐子、合唱青い鳥童謡音樂園兒、指揮佐々木すぐる

六、二五（新京）名曲鑑賞（レコード）奏鳴曲ロ短調作品四十七五（リスト作曲）ピアノ獨奏アルフレッド・コルトー

七、〇〇（東・新）ニュース告知事項

七、三〇（東京）リポート演藝

七、四〇（東京）舞臺劇「生寫朝顔日記」大谷友右衛門他

八、三〇（東京）常磐津「乗合船惠方萬歳」常磐津文字太夫他

九、三九（東・新）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組

一〇、三〇（新京）今日のニュース

一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

新年文藝・選外佳作
泥沼（二）
小松若人

お勢が女中奉公などとは眞赤な嘘。大阪の新世界の或るスキ燒き屋の仲居をしてゐたのだ。住宅難の理由もあるが、實はお勢との關係も曖昧なだけ、それを同僚に知られる範圍を出來るだけ小範圍に留めておきたかつたので、殊更、町端れの半島人經營の旅館の二階を借りておいた。部屋は[illegible]になつて、三疊とも四疊ともつかぬ小さな部屋に區切られ、薄い壁と內地式の障子が、隣りと廊下の土間を仕切つてゐた。しかし、かうした狹い部屋が十五六もあつた。旅館の方では、食事も內地式と餘り變らないのだからと言ふことだつた。他に自炊してゐる家族もあることなので、また經濟のこともあつて自炊といふ條件にしておいたのだが、お勢が來ても二三日は旅の疲勞で寢込んでしまひ、起きるやうになつても急に煮炊をする樣子もなかつた。貴島がそんな顏色を見せると「うちは御飯炊きが下手やさかい、寄りまひよう。親子丼かええやろ。ハイライでもええけど」等と言つた。しかし、それと言つて貴島はお勢をどうしようとする亭主顏の出來る間柄にもなつてゐなかつた。

朝の早い會社なので、朝食だけは今まで通り宿で準備することにした。

鍋を提げて表入口にある土間の竈に出て行くと、土間では黑い袴の宿屋の主婦と八號室兄妹の妹娘タイピストの崔淑が時を同じうして朝の仕度をしてゐた。

「おや奧さんは――」

貴島の鍋をさげた恰好を見ると、淑はびつくりしたといつた表情で訊ねた。

崔淑は十七ださうだが一見二十程に見える大柄なこの人達には珍らしく洋裝しかしない少女だ。言葉はかなり投げやりだつたが、華かで、不思議な程辯かなかつた。

「奧さん？だれの――」と白ばくれた。

「おやおや。恥しいのね」と、崔はそれから主婦と鮮語で二三言何かいうて二人で笑つた。

「ありや。妹だよ。嫌だなア」

「妹さん。へえ。――貴島さん。あきれた」

さうして、彼女は急に笑をとゞめ、貴島にもはつとさせるやうな眞劍な色をみせた。少し扁平な感のする又それが理智的な閃きさへ見せる貌の輪郭や、整ひすぎる程器用に出來た眸、鼻立、唇を貴島はぼんやり眺めた。

貴島がお勢を呼ぶためにここに家移りしてから一と月ばかりであつた。朝夕顏を合して唯冗談をたたき合つてゐた間だ。それだけでこの少女は淡い嫉妬にかられてゐるのだらうと、彼はくすぐつたかつた。

貴島と、崔とはよくその土間で顏を合した。毎朝のやうにだつた。勤めの時間の關係で外で顏を合す機會はなかつたが、毎朝は申合せたやうだつた。貴島には淡い温みが、お勢に感ずるとは全然別個な匂りを嗅ぐほはすのを知つた。唯好感といつたものが、しかし崔淑の態度はあけすけではあるが、明朗といふ以外にどう解釋してよいか貴島が惑ふものがあるやうに思へた。

「お米。私が洗つて上げるわ。可哀さうね。私しこれでも內地の人へお嫁に行く積りだから。お炊事も內地式にとても上手よ」

「僕んとこへはどう――」

「駄目々々。第二號ぢや。私だつて誇りがあるわよ」

「あれか。あれは妹だよ。あれでなかつたら馬鹿らしい僕が。ねえさうだろ。それとも君の兄さんつてのもをかしいと言ふやうなものだよ」

「お馬鹿さん。だけどあんたのそんな甘い弱氣なところが案外、私好きかもしれないわ」

・貴島のお勢に對する期待はづれから崔淑に傾いて行く烈しい傾斜は、極めて短い日時にもうお勢の前でも覆ふべき術がなかつた。けれども貴島の考へがさて、それ程突き進んで見ると、淑の今までの應接は餘りに幼く、とても滿足の出來る範圍のものでなかつた。貴島は勇みきつた悍馬の制御のしようもないまでになつた。物事に鈍いお勢と言ひ條、この貴島に氣付かぬ筈がなかつた。

いつものやうに、貴島が床を立つて行くと思ひがけなくお勢が土間に立つてゐた。

「あてが御飯やります」

「これはどうしたことだ」

「すんまへん」

生れ變つたやうにお勢はすなほに顏を伏せた。

「あてはあんまり御飯たきが下手糞やよつてあんたはんに見せるのが恥しかつたのや。すみまへん。これからわてがやります」

お勢は、彼の持つてゐる鍋を取らうとした。貴島はこの打つて變つた彼女をどう信じてよいか急には思ひ定まらなかつた。

「いいんだよ、いいんだよ」

「いいえ。わてがやります」

「よせ。いいんだつたら」

お勢は急に恐い顏になつて貴島をねめた。

山の祭（四）
由良和夫

――う妙子が來る頃だが――無意識のうちにそんな事を考へ乍ら、シュウヴェルトの「菩提樹」に聞き惚れてゐると、道路に面した障子に、月を背にして佇つてゐる女の影がぼんやり映つた。

――來たな――と思ひ乍ら、わざと横着に構へて彼女の言葉を待つてゐると「菩提樹」といふ澄んだ聲が障子の外に聞えて、障子をからりと開けた妙子の顏が無表情に白かつた。月の光を横に受けて、蒼白い影を片面につくり、月の光を受けた面は後の壘に影さへ殘さないと思はれる程透き通つて見え、蒼白い影の面は肺にやつれた人のやうな表情である。

彼女は會釋もせずに上つてきて、一枚レコードを拔き取ると、蓄音機にねぢを入れてそれをかけ、川に面した障子をさらりと開けた。待ち構へてゐたやうに月の光が流れ込んだ。

今が滿潮なのか、滿々と水を湛へた川面は死んだやうに動かない。十五日を過ぎた月は、妙子の表情のやうに澄んだ影を落してゐる。

音樂は同じくシュウヴェルトの「子守唄」であつた。妙子は川面の月影をじつと見つめ乍ら聞き惚れてゐたが、レコードが鳴り止むと「舟に乘るの」と一言いひすつと立ち上り、茶舟の繋いである下の方へ下りて行つた。私は些か慌て氣味で「止しなさい、遲いから」ととめにかゝつた。

「あんた怕いの？」

「怕くはないけど、櫓が漕げないから――」少し癪にさはつたが、そんな嘘を言ふより仕方がなかつた。

「私一人で乘るわ」

仕方なく私も乘り込んだ。

「秋夜小舟を浮べて淸流を下る、亦樂しからずやか」

苦笑がそんな言葉に變りへんに氣まづい思ひをした。

舟は音もなく滑り出た。水脈が走る樣に横に擴がつた。月影が無慘に崩れる。漁火は一つも見えない。

「手相を見て上げるわ」舟を水の流れに委せて、妙子は私の左手をとつた。滿潮と思はれたのが中程は少しづゝ引潮になつてゐた。

彼女は私の左手を月の光に照らして丹念に調べてから、

「あんた長生きしないわよ」と眞面目に言つた。

「何年生きる？」私の言葉は冷かし氣分が先にたつた

「五十迄」

「それぢや生き過ぎるよ。この退屈な人生に」私は些か本氣になつてから言つた。

妙子は一寸變な顏をして「人相を見て上げるわ」と私の傍に腰を下ろし、細い兩手で私の兩頰を抱き、自分の方へじんわりと向けた。不氣味な程冷たい手だ。私も大膽になり、彼女の兩手首を握り、靜かにひき寄せた。妙子は私の眼を眞見入つた。私も彼女の眼を覗き込む。鼻と鼻とくつつく程接近してゐる。

私は初めて妙子の眼を眞正面から覗き込んだ。氣味の悪い程冷たい眼である。私の熱を含んだ眼光は妙子の冷たい眼の底を通して後の河水が眺められるやう。若い女に見る情熱の炎はおろか、生きてゐる感じさへしない透明な眼である。

「あんた淋しいのね？」突然妙子は私の眼を飽かずに見つめ乍らさう言つた。

「……」

「お母さん居るの？」

「……」

「お父さん居るの？」

「あんた一人ぼつちで淋しいんでせう？」

「……」

妙子は默つて私の頰から兩手を放した。そして川面に映つてゐる月をぼんやり眺めた。

「君はいい、非現實の世界に生きられるから。僕なんか觀念の世界にさへ生きられないんだ」

「そんな難しい世界より私お月樣の國に住みたいわ」

秋の夜の川風はうすら寒い。

「あんた何時迄居るの？」

「論文も豫定以上捗るやうですから、十二月に入つたら直ぐ歸らうと思ふ」

「卒業したらどうするの？」

「分らない……？」

「ぢや卒業したらもう一度いらつしやいよ」

「ええ」

「うちの離れを無料で貸して上げるわ」

「ぢやあ、さうしよう」

遠くの方を夜鷺が悲し氣に鳴いて通つた。あたりは夢のやうな風景である。

「みむろさあん！」突然、靜寂を破つて私を呼ぶ聲が遠く聞えてきた。はつと我に返つた。まさしく作さんの聲だ。私はとつさに、

「あい！」と叫び返した。

「お嬢さあん！」作さんの幅廣い聲が、再び流れてきた。妙子は顏色一つ動かさずにじつと月を仰いでゐる。私は眞向から月光を浴びてゐる彼女の姿を、本當の幽靈ではないかと疑つた。引潮も調子づいて、大分早く流れてゐる。

「妙子さん。さ、歸りませう」私は多少いら〳〵して催促した。併し彼女は無感覺に表情一つかへない。

仕方なく私は艫に廻つて櫓を求めた。無い！櫓は何時の間にか紛失してゐる。

「櫓がありませんよ！」

「……」あきらめて、

「作さあん！舟を出してくれえ！」掌で口の廻りをかこつてのび上るやうに叫んだ。遠くの森から山彥が冴え渡つた夜氣をつたつてかへつて來た。

弛緩を見る
井伏鱒二「ウキズルさん」（「改造」一月號）

井伏式な、例のとぼけたやうな所のある人物を拉し來つて、構成の中に描き出した一篇である。作者の狙ひ所はわかるのだが、こゝでは幾分弛緩してゐるやうだ、少し書き過ぎて疲れたのであらうか。井伏は『週刊朝日』などにも書いてゐるが、その方がまだしも佳篇になつてゐると思はれる。畢竟は主題に向つての打ち込み方の書方によると言へようか（御垣衛士）

背信
――ダニエル・ダリューに贈る――
杉山伊太郎

昨日に變る　今日の身の
烈しき悲愁を　なだめんすべもなし。
處女の夢の　はかなさよ
明日の生活を　如何にせん
寂しき喪服の　影はさまよふ。
淫らな獸達の　罠を逃れて
孤獨の憂に泣き　絶望の淵に向ひ
あゝ　何處に行かむとするぞ
冷酷の街　たそがれて
鋪道を渡る風　いと冷めたかりき。
暗憺たる人生の　深き思ひに沈み
きびしく苛責し　忍從に耐へ
かくも氣高く　麗はしく
薔薇の花に　たとふべき
君の瞳は　愛に燃え
同じいばらの道を行く
乙女のために　叫びたり
世の無情なる人々よ
愛の翼をのべずして
あゝ　背信の罪問ふ勿れ。
――映畫「背信」を觀て――

我が日記抄（下）
佐藤正雄

頽廢なすべても、この夜の悦びに何といふ力弱い影となることぞ。感激――それでも形容つくせないほどの淸淨なエエテルなのだ。淸純な！夢のやうな淸純さ！生きてきたほんたうの甲斐だ。あらゆるいままでの屈辱と、苦悶の、それは報いなのかしら。こんなにも、淸麗な少女と接したことを何としてむざむざ離れ去ることがあらうか。名も知らぬあゝこの少女に、私の絶望觀はいづこに定着し霧散しようか。

明日が樂みとなる心……。その無上の歡喜が、きた。輝け、明日の絶望も、輝け明日の失敗も、この最大至福の前に跪いてしまふのだ。晴れやかに、晴れやかに、晴れやかにその頌歌以上に晴れやかに明日の戀を手習ひせよ新聞記者の第一課。私は堪へ堪へ拔いた。記念は、私の押しの前に甘くなるか。さあ、爆藥のごとき意志を持ち、押しの强さを進めて突きあたれ。城壁をぶち破れ。私の蒼弱の如き心を、ここで爆藥にすりかへるのだ。我が生活より……私は絶えざる憎惡と、屈辱と、戰爭を待ち構へよう。

横光利一の『盛裝』讀破。おお。何といふ究極。横光利一の神經は我我の知らぬ精神の危機を見拔いた。この終局に至るプロセスの進行は、眼に見えぬ時間となり、我々の無意識を計量してゐるのだ。さうして、遂に爆發する人間悲劇の暴露。このカタストロフイの凄慘さ！『花花』に驚嘆し『時計』に戰慄し、『天使』に胸搔きむしられ『雅歌』は哀傷した私はこの『盛裝』が呑吐する現實の重量？に、または精神の重量に恐怖を覺えた。

ああ。道長は、私の幽靈に違ひない。
ああ。ぢつと見つめた我が心の寂しさか、または人の心を推しはかる純情が、私をますます苦しめてゆく。ゆけ。私は今日を革命するのだ。ゆかう！私は走るのだ。そんな情もろい浮世はさらばだ。
ぢつと見つめる餘裕もない人生の戰爭だ、そこにゆかう。
去れ。人の情の波乘越えて飛びこむは俗情地獄か。神も、佛も、亡魂も、しばし私を見棄ててくれ。私は私と死ぬ。我は我と侮蔑の中へゆく。

我をめぐる愛すべき女友達の純情を信じようか……。
我を無恨の焦躁にいざなふ戀人を信じようか……。
我はココアをすすり、リンゴをむさぼり食ひつつ何故死なうとしないのだらう？
我が戀はかけろふよりはかなく。
むしばめる靑春よりみじめさに。
すでに破れ、潰滅した……
汝、微笑みを忘れはてし天使を愛するか。
むなしくも、はかなくも。
心は凍死だ。
いざ！我と君は別れ去らうか……。
せつなさ胸をかざせど、今宵は今宵だ。
君が逢瀨を祈る時こそ望む我だ。
ああ、人と人との流れは、はてない。
君と君との、我と我との、流れはとまる。
悩みはてなく、君は榮耀へ。
我は絶望へ。
光れよ！この愛。死せる愛この愛の力。
我は、かく君がため、絶望の中に生き堪へる！
それが、闇を貫き、光となり！
君と、我を救ふことを信じつつ！
野分よ、さらば、馳けゆけ私を吹き飛ばし、さらば、馳けゆけ。さらば、枯葉を捲きて飛べ、我が傷魂。

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲金融合作社（五六號）（金融合作社聯合會）
▲滿洲鑛業協會會報（五卷一一號）近村吉利「石炭を資源とする化學製品」川上卯三郎「興安金廠の經營研究」その他（滿洲鑛業協會）
▲滿洲評論（一月二十日號）時評―米內新內閣の課題―「中央政權樹立に關して」―「歐洲戰爭の特異性」―野々村一雄「滿洲帝國協和會の本質と主要內容」―等（大連、滿洲評論社、十五錢）
▲國民法律顧問（一月號）竹下正雄「法律と人生」その他（東京市荒川區尾久町五ノ一一八一、國民法律顧問會、二十錢）
▲興亞資料月報（一月號）産業特輯號として上海を中心とする經濟方面の資料を盛つてゐる（上海赫司克而路安寧里一九、興亞研究會、七十錢）
△農業の滿洲（一月號）岸喜二雄「日滿支の農業調整に就いて」川本國義「康德六年度水稻に關する所見」香村岱二「自然環境より見たる滿洲農業地帶」その他（農業の滿洲社、三十五錢）

近代人に多い 胃の弛む病氣

─胃擴張・胃下垂・胃アトニーの症状と手當法

この頃どうも食慾がない、少し食べるとすぐ胃にもたれて膨満感が強い、食べたものはいつまでも胃に溜つてゐて氣持が悪い──かういふ人が試みに空腹時、胃部を揺つてみると

ボチャ〳〵水振音がする場合が多くあります。これは明かに胃の弛んだしるしで、筋肉の弾力を失ひ、胃神經が衰弱し收縮が鈍り、食物を腸へ送る機能が衰へたためであります。

胃擴張、胃下垂、胃アトニー、と呼ばれる病氣は何れもこの類でたゞ弛緩の状態によつて區別されてゐるわけであります。

胃擴張

は胃腸の緊張が失せて無力となり胃全體がダラリとまるでゴム風船が伸びきつたやうになり、食物の大部分が胃に停滞するため、心窩部がプックリ膨らみ、程度によつて日に何回か嘔吐を催します。この嘔吐が胃擴張の特徴でこれがあまり頻繁になりますと、體内の水分に缺乏を來し口渇をしきりに訴へるやうになり、頭痛眩暈が伴ひ、手足は冷え、通常便秘に傾きます。

胃下垂

は胃の位置が下つて、やはり食物を腸の方へ送り出す働きが鈍り、胃に食物が停滞する病氣であります。通常胃の下底は臍の一寸位上部にあるものですが、下垂すると臍の下一二寸、甚だしきに至つては恥骨縫際まで下つてゐるのが往々見受けられるものです。

本症は單に胃だけが下る場合がありますが、往々他の内臓下垂例へば腸の下垂、腎臓の下垂を伴ふことがあります。食物が胃に停滞しますので、消化作用が妨げられて便秘しがちで、絶えず腹工合が悪いものです。従つて食慾が乏しく、全身がだるく元氣がなく、頭痛がしたり、まるで神經衰弱のやうな状態を呈することがあります。

胃アトニー

は普通胃弱とも、胃弛緩症とも言はれ、胃の筋肉が弛み、運動力が減退する病氣で、胃は痛まないけれども、食物が胸につかへ、少し食べてもお腹が張り、噯氣が盛んに出ます。重くなりますと食慾がなくなり、結核患者のやうな状態になります。

かやうにこの三つの病氣は醫學上では區別されてをりますが、實際には明瞭に分けられ難く、相互に合併して起る場合が多いのです。原因は暴飲暴食や運動不足からくるものですが、元來この病氣は

體質上から來る

ことが多く、體の細そりした神經質の人が罹り易いのです。

しかし胃弛緩は何れも胃を組織する細胞が極度に衰弱疲勞したためですから、従つて治療法も在來の食餌療法や對症療法では思はしい効果を擧げ得ぬ憾みがあるわけで根本的な治療法としては、胃腸の細胞組織に活力を與へ、それによつて衰退した機能の恢復を圖るのがよいので、その方法として好適なのは、若素（わかもと）の内服であります。

若素（わかもと）はヘーフェ菌にアスペルギルスNK菌を配して精製した優秀な複合藥用酵母劑ですがその獨特とする

細胞原形質賦活

作用は、病衰した胃腸細胞に活力を喚起し、消化機能を全面的に更生しますから、下垂やアトニーを起してゐる根源が除去され、食慾は進み、消化吸收は活潑となり、便通は整ふに至り、従つて全身の榮養は佳良となり、前記の症状が自づと解消される譯であります。

身體を温める食物のいろ〳〵

冬は

外界の氣温が低いため身體から温の發生する量も著るしいので、冬向きの食物としては、その實質において「温」の發生に役立つ成分を含んでゐる事が好ましいことです。

では「温」の發生に富む成分とは何かと云ひますと、先づ含水炭素と脂肪です。含水炭素とは澱粉質と糖類、または芋類、餅菓子、センベイ類などに豐富に含まれて居ります。次に

脂肪

は動物性のあぶら例へば牛脂、豚脂、魚脂等か、植物性のゴマ油などがさうなのです。ところが、含水炭素と脂肪は體内に取入れられて温を發生する際どちらも全く同じ位の熱量を生ずるのではなく、それ〴〵同一分量づゝ用ひても、脂肪は、含水炭素の二倍強といふ熱量を發生するのです。

ですから身體を温める源としては脂肪は甚だ効果的で、冬向きの食物に脂肪分が尊重される理由は茲にあります。唯注意すべき事は、脂肪が「温」の源として好適だとしても、無暗に多量を攝取するのは不消化に陥るもとで、之がため下痢を起すなどはよくある事です。

處が、平素から若素（わかもと）を服用してをりますと、之に含まれる白脂肪、含水炭素の何れをも消化する酵素といふ成分が含まれて居りますので、多少無理な食べ方などをしても、食べた物がよく消化吸收されます。また

身體を温めるといふ點からしても若素（わかもと）は、日常の食物を無駄なく同化して、充分に温の源である熱量を發生させますし、榮養素としても脂肪も含水炭素も、ビタミン各種も含まれてゐますので、體も體内から理想的に温まるといふ譯です。

この若素（わかもと）は東京市芝公園大門わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末百〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢、小兒には二三錢の廉價で發賣されてゐます。尚滿洲、中華民國の各地藥店でも次々販賣して居ります。

實話 胃酸過多症と胃下垂が輕快

（大分市神崎字白木）小幡修堂

小生十七八歳頃までは至つて强健な體の持主でありましたのに、中學校卒業後、十九歳の春頃から、僧侶としての修業のため、或る專門道場へ入門、日夜ひたすら修業に志して居りました。

ところが、道場生活は世俗の生活とは全然異なる生活状態のため遂に胃腸を害し、心配して醫師の診察を受けますと、胃酸過多症と胃下垂である故安靜を要す、とのことでしたが依然道場生活を續けてゐました。

けれども一向良くなる様子はなく鳩尾の邊りを壓すと、ダブンダブンと不快な音がし酸つぱい唾液が出たりいつも〳〵腹部は膨満感が絶えず、便通は食事毎に訴へて、恢復の兆候が見えません。

不安の餘りに醫人か醫師を替へて診て貰ひましたが、二十歳の春盲腸炎に犯され、一週間ぐらゐで幸ひ全治、しかし胃腸の方は依然思はしくなく、その年の暮つひに入院、三ヶ月をりましたが、退院後は當地にて療養してをります。その入院中、同室の人が「錠劑わかもと」を買つて下さつたので不安ながら服用してゐました。

するとだんだん食慾が出て來、便通がよくなつて來、少々ぐらゐ不消化物を食べ過ぎたり、また下痢などをしましても「錠劑わかもと」の服用によつて、非常によくなり、食慾はます〳〵旺盛に、腹工合も至極良く、便通はいよ〳〵整つてまゐりました。

たゞいまは大瓶二個目を用ひてをりますがこのやうに胃腸の調子がよくなり、元氣な體となつたのも、ひとへに「錠劑わかもと」のお蔭と感謝いたしてをります。

小生の體驗が世の同病者諸兄の御參考となり、療養の一助ともなりますれば幸甚と存じ右服用經過報告をさせて頂きました。

新京國産ミシン商會
崇智胡同一〇一 電話②一八四二
各種ミシン附屬品一切
カタログ進呈

畏き御慰問

御見舞品を下賜

阮大使夫人、館員感激

【東京國通】畏き邊りでは駐日滿洲國大使官邸の火災を聞し召され軫念あらせられると承はるが、大使留守中災厄に遭つた夫人以下家族達の上を思召され天皇、皇后兩陛下には二十七日御見舞として毛布を御下賜になつた外御料理なども賜はり、懇ろに御慰問あらせられた、なほ宮内省では水野外事課長が午前十時三十分大使館を訪問見舞つた

身に餘る光榮

聖慮を拜し阮大使謹話

阮駐日大使は二十七日午後五時二十分着あじあで歸京したが、滿洲國駐日大使館官邸火災に關し畏き邊りより御見舞として毛布、御料理を下賜遊ばされたとの報に接し恐懼して次の如く謹話した

留守中とんだお騷がせをして恐縮してゐる次第ですが只今有難き聖慮のほどを御聞き致しまして重ね重ねの鴻恩に只管恐懼感激するばかりです、啻に私一人のみではなく滿洲國四千萬民衆の光榮と存じ上げ奉る次第です

又隨行の吳理事官補は語る

官舍と大使館とは半丁ほど離れております、大使も火事が官舍であつたこと一人の負傷者も出さなかつたことを不幸中の幸ひとして居られました

官舍にはボーイ、女中のほかに幼い大使のお子供さんが八人ほど居られ避難に當つての大使夫人の勞苦が偲ひやられます、日本の皆樣に心配をかけて大使は申譯ないと言つて居ります

見舞客殺到

【東京國通】滿洲國大使官邸並に協和會東京事務所の火災につき各方面から見舞が殺到してゐるが內主なるもの左の通り

陸軍大臣畑俊六（代理）同次官阿南惟幾、軍務局長武藤章、外務大臣有田八郎（代理）同次官谷正之他各局長、警視總監安倍源基、帝大助教授隈部一雄、蒙古聯合自治政府駐日辦事處長久光正男、横濱正金銀行大久保利賢、同盟社長古野伊之助、電通社長光永星郎、東朝緒方竹虎及び美土路昌一、滯京中の滿洲國總務長官星野直樹、交通部次長飯野毅夫の諸氏及び在京滿洲國各機關並に會社代表

奉公日に公休？

禁制三則實踐より自戒

二月一日から設定される興亞奉公日の實施事項の中三大實踐事項として禁酒、日の丸辨當、徒歩通勤の三運動が擧げられこの實施決定如何については各方面から注目の的となつてゐたが、實施か否かの鍵を握る料理店、カフエー、飲食店等營業組合と關係各機關との懇談會は二十七日午後二時半より商工公會主催の下に國防會館會議室に於て商工公會より三浦理事、孫副會長協和會側より森總務科長、首都警察保安科より小川警正等出席、業者側より日滿系各代表三十名が參集して開催された、三大實踐事項中ひとしく注目されてゐた奉公日酒なしデーの第一項は果然豫想されてゐた如く業者側より異論百出、從來の自肅日休業の實例から徵しても奉公日を酒なしデーとして休業する事は奉公日が公休日化するだけで無意義であること、業者が自覺しても一般が自戒せぬ限り効めの擧らぬ事、自肅哀悼日と奉公日と休業がダブル事等の爲め意見が纏らず、一汁一菜の檢討に移り、第二項日の丸辨當、第二項は安い材料を使つて贅澤をせぬ程度と云ふ事に意見の一致を見、結局奉公日の最大眼目たる禁酒の項は之を十二日の自肅日に移行、自肅日には料理店、カフエー等は一齊に休業して嚴重に禁酒を守る事となり、毎月一日の奉公日は單に奉公日の趣旨を一般に理解せしめ自戒を要望する程度と云ふ事に決定し、第三項の徒歩通勤の件は都合によつて取り止めとなつてゐたので、結局奉公日三大實踐事項は殆ど取り止めとなつた形で同四時半散會した【寫眞は懇談會】

儲蓄報國へ拍車

郵政局、各界代表に呼びかく

滿洲郵政總局の郵政貯金は創業僅か六年にして昨年末をもつて一億圓を突破する成果を收めてゐる、これは一に從業員の精勵の然らしむるところであるが一面國民の儲金思想の高調せる證左でもありまことに喜ばしき傾向である、郵政總局では此の機會に更に一般民心を喚起し斯業の使命達成をはかるべく三十日午後六時から國都飯店に於て各界代表者を招き懇談會を開くことになつた

慶祝國民舞踊發表會

紀元二千六百年慶祝國民舞踊發表會は舞踊學院主催の下に同學院生徒三十名、錦ヶ丘高等女學校舞踊研究生五十名と共に院主中山義夫氏の指導により廿八日午前十一時から午後三時まで錦ヶ丘高女講堂で開催されるが、滿洲帝國慶祝委員會では滿映と提携してこれをニュース映畫に收めることゝなつてゐる

需要の狂ひから割當てに四苦八苦

絕對數量へ寒波急襲！

石炭配給の不圓滑に悲鳴

國都に於ける石炭節約運動は「護國の石炭、擧國で護れ」このスローガンを高く掲げて採煖期間の短縮に或は低溫生活の實施にと爾來全市を擧げて燃料愛護の國策線に沿ひつつひたすら節約の歩みを續けて來たが、酷寒期のけふこの頃市內各家庭の臺所から石炭の不足を訴へる悲鳴が上り配給の圓滑を缺く不平が爆發して凍てついた寒い巷に石炭にからまる悲喜劇を繰り展げてゐる、から〳〵石炭は不足してゐるのであらうか、これ等悲鳴、不平、不足、配給の不圓滑等の因果關係を尋ねて配給の總元締め鐵道北の新京石炭配給組合の門を叩いた

眞黑く煤煙によごれたみすぼらしい支那家屋の狹い組合事務所內は葉書で、電報で、電話で或はどつと押し寄せた需要者に溢れ事務員は應接に汗だく〳〵ごつた返してさながら戰場のやうな目まぐるしい光景を呈してゐた「御覽の通りの狀態で」と悲鳴をあげつゝ笹部支配人は次の如く語つた

この酷寒期石炭の配給に需要者の滿足を與へることの出來ないのは甚だ遺憾と思ひます、その根本原因は旣に御承知の如く石炭は物動計畫の一翼として數量を割當てられてをり、この數量は絕對に動かすことが出來ないのであります、かくの如く數量に制限を加へられてゐる反面、需要量が多いための不均衡から來るものです、殊に昨年は稀れに見る暖さに惠まれ需要者側にあつても少々の寒さは心抱されてゐたのですが、今春以來本格的な寒氣が下り必然的に需要多の訪れとゝもにぐつと增となり、最近では九時から賣り出し一時間を出ずして旣に一日の割當て數量を超過すると言ふ狀態です、とくに民需用に對しては出來るだけ利便を圖るため官廳、會社、工場用炭を犧牲にしても民需用に充てるやう苦心してゐる次第です、要するに配給の不圓滑は一日に於ける需給の不均衡から持越しとなつたものが積り積つて來たもので、輸送能力の不足によるものではありません、尙今後の配給も申込みの後十日間を要することを覺悟して戴かねばなりません

故淸水少佐の遺勳を顯彰

正陽河畔に壯烈華と散り滿洲建國の基礎を身を以て築いた十年前の感激も新たに思出深い一月廿七日故淸水少佐の九周忌を迎へた哈爾濱市では午後一時から商工公會で市公署主催の下に市公署、協和會、鄉軍、國婦その他當時由緣の人々等多數出席盛大な慰靈祭を執行終つて現地記念碑に參拜故少佐の遺勳を顯彰すると共に在哈五十萬市民を擧げて當時を偲んだ

東光小學校開校式

市內東光路に昨年四月より總工事費十三萬圓をもつて新築中の東光小學校は昨年十月竣工を見生徒を收容授業中であつたが來る二月五日これが開校式を同校講堂に於て、午前十時半より擧行することになつた

協和會事務所假事務所設置

【東京國通】今曉類燒した滿洲國協和會東京事務所は金庫の他殆んど書類の全部を燒失したが、取敢へず大使館內に假事務所を設けて所員一同後始末をしてゐるが、東京駐在主事海保正夫氏は目下新京へ赴いて留守中の災厄であつた

開拓瀆職にメス

古田鐵嶺副縣長ら一味檢擧

滿洲國開拓史上に一大汚點を印した鐵嶺縣副縣長以下日系官吏の瀆職背任橫領事件がまた〳〵奉天省鐵嶺縣に發生司直の手に依つて白日の下にさらされようとしてゐる

奉天高等檢察廳では舊臘二十二日來鐵嶺警察廳を指揮鐵嶺縣公署を繞る日系官吏の不正摘發に努めつゝあつたが二十七日前公署技士丸山朝壽を拘留更に二十五日には鐵嶺縣會計股長桐生次郎及び衛村股長中島錦湖の兩名を拘留取調中であつたが、二十六日午後七時遂に鐵嶺縣副縣長古田傳一を鐵嶺市境町の自宅より引致前記三名と共に鐵嶺地方檢察廳に拘留峻嚴な取調べを開始した

拓士教學の感激

奉仕部隊の貴い體驗報告

遙々故國日本を離れ、海を渡り鍬の青年戰士として全滿各地の開拓地に入植大陸開拓の第一線に立つてゐる開拓青年義勇隊隊員達の智能情操を更らに輝しいものとするため、昨年末より全滿各地の開拓地へ教學奉仕隊として臨時入植、現地青少年達を誠心籠めて指導した新京市內中初等學校十三校、二十一名の教員達は多大な成果と收獲を得て此のほど各地から勇んで歸校したが、この教學奉仕隊現地報告會を二十七日敷島高女に於て午後一時半より感激を以て開催した

日本大使館教務部より柏原、池上兩視學官、滿拓より安田參事以下各關係中初等學校校長、入植教員全員參加、先づ滿拓安田參事の挨拶があつた後錦ケ丘高女保井、新京中學小川、新京商業安田、敷島高女青木等各中學校教諭、東光宮崎、三笠辻順天繁田等各小學校訓導の順で各々その體驗、感想を語つた

現地に於ける開拓青少年達の生々しい生活に觸れた教員達は教育家的立場からの感想以外に溢れ出る感激を青年義勇隊そのものに對する種々なる批判、感想等大陸開拓政策に關する意見に現はし、世人の青年義勇隊に關する認識の强化を叫んで午後六時散會した【寫眞は報告會】

コーヒーを飲んだつもり

"つもり"で節約

サロンキングの獻金部隊

一ヶ月の貯金を國防費へ

で、活動を見たつもりで」と冗費節約の國策線に沿つて銀座新道カフエーサロンキングの女給さん達は昨年以來小遣ひを節約「つもり貯金」を實行、毎月國防獻金を續け、銃後赤心譜を奏でて來たが二十七日同店の順子こと今井靜榮さん及び水江こと加藤信江さんの二人は女給さん一同を代表して本社を訪れ一月分のつもり貯金五十三圓八十五錢を國防費の一端にと獻金を寄託した【寫眞は順子さん（右）と水江さん】

不意討ちに惡性馭者狩

防犯、檢索の一齊取締

首都警察廳保安科ではいよいよ押し迫つた舊正に荒稼ぎは今のうちと一時絕えた客馬車夫、洋車夫らの乘客行先選びならびに不當賃銀の强要が最近目立つて激しくなつて來たのに鑑みこれが徹底取締と併せて三笠町殺人強盜、軍用路古物商絞殺强盜等の犯人檢擧に側面から協力する點からも結氷とゝもに分散した匪賊が解氷待つ間の安住を都會に求めて生活的根據を市內若くは近郊に持ち馬車夫、洋車夫になりすましてよき獲物を物色してゐないとも限らないのでこの摘發をもなすべく二十七日午後九時より同十二時まで三時間に亘り各署保安係員を動員して拔打的に全市に乘客の選り好み、行先個所の撰擇、不當賃銀の要求、雜沓中の駐車無許可等々不良馭者の剔抉的の一齊取締を敢行した

産業部門に汚點

求刑に峻烈な論告

産業部をめぐる瀆職事件公判は二十七日午前十時新京地方法院大法廷に於て栗本審判長、眞田檢察官、遠藤書記、大內、横田、今井、鈴木、小野各辯護人立會の下に開廷、この日官吏が傍聽席を埋める中に「建設途上の滿洲國産業部門に一大汚辱を與へた」との峻烈な論告を以て眞田檢察官は次の如く求刑、正午閉廷した

△收賄側

徒刑	一年六ヶ月	山元陽二郎
同		濱 香三
同	一年	林 美濃平
同		野尻 哲二
同	六ヶ月	高橋 亭
同		鶴田 眞吉
同		稻澤 一德

△贈賄者側

罰金	千圓	小西英雄（三一）
徒刑	六ヶ月	莊野忠德（三九）

なほ二十八日午後一時から辯護側の辯論を行ふ

美男身を崩す

千三百圓橫領犯人捕る

既報、西七馬路滿洲圖書株式會社元販賣主任長野縣比佐久郡町生れ小山一郎（三三）が同社書籍代一千三百圓を詐欺橫領行方を晦ましてゐる事件は二十六日午後六時四十分所轄西四道街署益村司法主任、出浦、溝淵兩刑事が搜査の結果二十六日午後六時四十分潛伏先の櫻ホテルで逮捕された、捕はれるまでの經過は益村司法主任が係員を指揮小山の足取りを追及中端しなくも同社社員の口から二十四日ごろ小山を金泰洋行で見掛けた者があることと、ダイヤ街カフエー新世界の女給星こと福岡縣大牟田市不火町木村房子（二八）＝假名＝が情婦であることを端緒に益村司法主任は出浦、溝淵兩刑事と新世界に赴き房子の自供に依り小山は大同大街櫻ホテル分館三百五號室に投宿してゐることが判り、時を移さず同ホテルに急行、外出先から何に喰はぬ顏をして歸つて來たところを逮捕された

小山は性來の美貌を餌に紅燈街に咲く浮氣女を籠絡して二人の子供迄なした妻を內地に追ひ歸し、數名の女性の家を次々に泊り歩いてゐた不身持ちから遊興費に窮し同社の集金を橫領一月十三日同社の印鑑を竊取逃走奉天に赴き得意先から二十數件に亘り二千五百餘圓を橫領し二十三日新京に舞ひ戾つたもので情婦の房子を數回連れ込んで「前借金六百圓は俺が支拂つてやるから北支に行かう」と房子の本籍地に手紙で連絡を取り同女にハハキトクスグカヘレの僞電報を打たせ、高飛びしようと房子を自分の妻に仕立てて旅行證明まで作成、自分は滿洲圖書事業擴張のための出張と詐り兩三日中には邪戀の房子と手に手を取つて北支に渡る手筈にしてゐた所をご用となつたものである（寫眞は犯人と騙された女）

半島志願兵應募者殺到

【京城國通】北支戰線における半島志願兵の輝かしい功績が讃へられてゐる折柄本年度志願兵訓練所入所生は三千名の募集に對し志願兵申出殺到し中には血書志願をしたものもあり廿五日現在志願兵總數二萬五千九百十九名に達してゐる

新京自動車三周年記念式

新京自動車株式會社は來る二月一日創立第三周年を迎へるので記念式典を午前十時より同所に於て擧行、續いて午後六時からは同社家族慰安會を白菊會館に於て開催する

大連港氷異變

大連港に張りつめた結氷は入港諸船舶の航行を惱ましてゐるが廿七日午後二時港外着の日滿連絡船うすりい丸は港內結氷のため容易に着埠出來ず午後四時半に至つて漸く上陸した

林芙美子女史

酷寒期の東滿國境附近を視察取材しつゝ構想を練つてゐた閨秀作家林芙美子女史は二十九日牡丹江から新京に引返し二三日滯在の後歸國の途につく

留守中に盜難　二十七日午前十一時卅分頃市內蓬萊町一ノ一某署警尉補渡邊流美氏方留守宅へ侵入した賊に背廣オーバーなど衣類七點（時價四百餘圓）を竊取されてゐるのを歸宅した家人が發見中央通署に屆出た

七分鳩

冬ともなればズボン下二枚に申又三枚も襲ねて履いてるほど寒むがり屋の城島本社々長、二十五日朝發ののぞみで京上したが、その日の內地電は裏日本一帶大吹雪を報じてゐるので寒波內地を襲ふか、社長寒がつてるだらうと噂してると▼廿七日の朝、十河主幹宛に京都から、パイプガコホリ、シヨクドウシヤ、センメンシヨノミズガデナイトイフアムサと先づ第一に寒さを報じて來たところが如何にも寒むがり屋らしい▼十河氏の見舞電に曰く「春寒料峭の候切に加餐自重を希ふでなく襲ね着自重を希む」

けふの天氣	西の風晴時々曇
きのふの氣溫	最高零下十六度三　最低零下二七度四

列車發着表

大連方面行

哈爾濱方面行

圖們方面行

白城子方面行

大連方面より

哈爾濱方面より

圖們方面より

白城子方面より

大阪商船出帆

門司、神戸行　うすりい丸　鴨緑丸　熱河丸　黒龍丸　吉林丸　扶桑丸

三角、鹿兒島那覇行　大同丸

事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、で連絡切符發賣

家傳　辻の紅灸　新京　寶山前

日日案內